



### まえがき

世の中には数多くの書籍が出回っているのに、なぜかトランプの「大富豪」に関する書籍はありません。オンライン通販のamazonで「トランプ 大富豪」と検索しても、まったくヒットしない。近年ではオンラインの対戦ゲームとして、わりと気軽にふれる機会があるにもかかわらず、なぜか「大富豪」に関する詳しい書籍はないんです。誰か隙間商売を狙って、書いてもよさそうなものなんですけどね。不思議なことに、誰も目をつけていません。

その理由の一つはローカルルールが多さが原因だと思います。ざっと調べてみたところ、「天変地異」や「エンペラー」（詳細は省く）といったルールが複雑かつ、数多く存在するんです。これらをすべて網羅し、なおかつ攻略に踏み切るとなると、膨大なページ数に膨れ上がり収拾がつかなくなる。だから誰も手を出さない。手を出そうにも作者の許容量を越えてしまうのが一因だと思います。

そこで本作はルールを限定して、アメイバーピグで行われている「大富豪」に的をしぼって攻略法を書いていきます。一見シンプルに見えるトランプゲームですが、これでなかなか奥が深い。「大富豪」というゲームを攻略するにあたって、本書を手元に置いてもらえたら幸いです。

# もくじ

---

まえがき

もくじ

「大富豪」の専門用語（あいうえお順）

## 第一章\_ルール

ルール

ローカルルールの説明

各ルームの説明

各ルームの特徴

## 第二章\_基本

「大富豪」は大富豪を落とすゲーム

手札を推測されることが必ずしもマイナスにならない

四枚目の2のカードにジョーカーを切る

各ポジションの立ち回り方

攻め手による立ち位置

大富豪のカードはしばらくしない

初手でペアは出さない

## 第三章\_登場人物の紹介

登場人物の紹介

## 第三章\_応用\_アシスト編

1 - 1 ペアにペアを重ねる技術

1 - 2 カードはせこらない

- 1 - 3 カードの受け取り
- 1 - 4 情報の連係プレイ
- 1 - 5 カード管理
- 1 - 6 攻めの合図

### 第三章\_応用\_技巧編

- 2 - 1 記憶力
- 2 - 2 しばり
- 2 - 3 ハツタリ（詐術）
- 2 - 4 上がれる手札作り（正攻法）
- 2 - 5 死に札
- 2 - 6 読み（考える力）

## 「大富豪」の専門用語（あいうえお順）

---

### ～ア行～

アシスト。上がり役を助けること。

- ・フォロー。アシストに同じだが、ニュアンスは補う。
- ・サポート。アシストに同じだが、ニュアンスは支援。
- ・サポーター。サポートをする人。

受け取り。大富豪を挟んでカードを受け取ること。

### ～カ行～

カード交換。それぞれの順位に従ってカードを交換すること。

階段。同じマークで連続した数字の三枚以上のカード。

革命。四枚以上のカードを出すこと。

革命返し。革命中に革命して通常状態に戻すこと。

革命中（または革命時）。カードの強さが逆転している状態。

壁役。（○→大富豪）の席順。

○○崩し。必要に応じてペア以上のカードを崩すこと。

### ～サ行～

差し込み。意図的にカードを切って（大富豪以外の）誰かを上がらせること。

j k。ジョーカーのこと。

Jバック（イレブンバック）。Jのカードで疑似的な革命状態を作ること。

J回し。大富豪を挟んでJバック（イレブンバック）でカードを回すこと。

死に札。スペ3が見えてない状況での、j k含み残り三枚の手札。

しばり。同じマークのカードでしばること。

捨てJ。攻め役にとって邪魔になる、処理してほしいJのカード。

スペ3返し（たんにスペ3とも）。ピンで切られたj kをつぶすこと。

スリーカード。同じ数字で三枚構成のカード。

スルーパス。あえてカードをパスすることで、状況をよくすること。

セオリー（または定石）。理に適ったカードの切り方。

セオリー外し。あえてセオリーを外して、相手の裏をかくこと。

攻めの合図。攻める人の攻撃する合図。

～タ行～

大富豪越し。(大富豪→○)の席順。

○○釣り。2やj kなどをはったりで引っかけること。

～ハ行～

8切り。8のカードで強制的に場を流すこと。

反則上がり。反則になるカードで上がること。

ピン。一枚のカード。

振り込み。大富豪に上がられてしまうカードを切ること。

ペア。同じ数字で二枚構成のカード。

ペア誘い。ペアを嫌っているふうに見せかけてペアを誘うこと。

～マ行～

間。カードを切るまでの時間。

水増し。カードを水増しして勝負所を悟らせないこと。

都落ち。負けた大富豪が大貧民に没落すること。

～ヤ行～

野戦。なじみの薄い人との試合。

野戦切り。野戦に合わせたカードの切り方。

～ワ行～

j k割れ(または割れ)。富豪と貧民にそれぞれ1枚ずつj kが渡ってること。

### ルール

まずは基本的なルールの説明からです。すでに知っている方には退屈かもしれませんが、ピグの「大富豪」は四人で行うトランプゲームです。性質は「ばば抜き」と同じような感じで、配られた手札をなくした順に順位が決定します。

ゲームの開始はダイヤの3を持っている人からで、二戦目からは大貧民（四位の人）からスタートですが、ゲームが始まる前に以下のルールでカード交換を行います。

一位：大富豪

大貧民へ好きなカードを二枚渡す

二位：富豪

貧民へ好きなカードを一枚渡す

三位：貧民

富豪へ最強のカードを一枚渡す（自動交換）

四位：大貧民

大富豪へ最強のカードを二枚渡す（自動交換）

カードの強さは他のトランプゲームとは少し違って3のカードが一番弱く、2のカードが一番強いカードになります。あらゆる状況で最強のカードであるジョーカーの説明は後述。

#### 3～2<ジョーカー

またカードのマークにも強さの序列があり、スペード<クローバー<ダイヤ<ハートの順に強くなります。こちらの強さは主にカード交換に適用されます。たとえば貧民でスペードの2とハートの2がある場合は、優先的にハートの2が富豪に渡されるということですね。つまり貧民からスペードの2を渡されたら、貧民はもう2のカードは持ってません。「ジョーカーにも優先順位があり爆弾<悪魔、絵柄によって区別が付きまします。ジョーカーを持ってない状態で貧民から爆弾の絵柄のジョーカーが送られてきたら、確実に大富豪が悪魔のジョーカーを保有しています。

貧民の手札に悪魔のジョーカーがあることはありません。（2013/10/16\_加筆）」

次はカードの出し方ですが、すべての手札をなくさないで勝利にならない以上、手札を減らさないといけません。手持ちのカードは場に一枚から出すことが可能で、同じ数字のカードは二枚以上出すことができます。その場合は、次にカードを出す人は前に出した人と同じパターンで、より強いカードでないと場に出せません。たとえば本書では同じ数字の二枚構成で出されたカードはペア、三枚構成で出されたカードはスリーカードと表記しますが、3 3のペアが場に出された場合、それより強いペア——4 4だと出せるという仕組みです。同じマークで連続した数字のカードは三枚以上で出すことができ、それを階段といいます。ピグの「大富豪」では3 4 5の階段が出された場合、6 7 8などの頭が6以上の三枚階段でないと出せません。

□→□○

(3 4 5 → 6 7 8 ○)

□→□×

(3 4 5 → 5 6 7 ×)

## ローカルルールの説明

### 1・階段

上記で説明。

### 2・革命

四枚以上の組み合わせで出されたカードは革命として成立します。革命が発生するとカードの強さが逆転し、3のカードが一番強くなります。後述するしぼりは階段にも適用されますが、革命の階段はしぼりの対象外です。また革命中に革命することを革命返しと呼び、革命返しすると通常状態に戻ります。

### 3・都落ち

二戦目以降で大富豪以外が上がった場合、大富豪だった人はその時点で負けが確定し、次戦から大貧民になります。

### 4・スペ3返し

ジョーカーが一枚だけ場に出された場合、スペードの3をジョーカーより強いカードとして出すことができます。

### 5・ジョーカー

通常時には2のカードより強く、革命時には3のカードに優る最強のカードです。ジョーカーはあらゆるカードと組み合わせで出すことが可能で、たとえばペアの場合、本書では2 j kと表



記します。またQ j k j kと出した場合は、階段としては扱われずスリーカードとして扱われます。組み合わせられたジョーカーのマークはオールマイティーで、後述するしぼりに利用できます。ただし、同じマークの4 j kに7 j kを被せてもしぼりは発生しません。

#### 6・しぼり

場に出されたカードと同じマークのカードが出た場合、場が流れるまで同じマークのカードしか出せません。

#### 7・8切り

8のカードが場に出されると、自動で場に出されたカードが流れます。その場合、8切りで場を流した人からスタートとなります。なお階段に含まれた8のカードでは8切りは発生しません。

#### 8・Jバック（イレブンバック）

Jのカードが場に出されると、カードが流されるまで革命の状態になります。こちらも8切りと同様に、階段に含まれてもJバックにはなりません。

#### 9・反則上がり

ジョーカー、2（革命中は3）のカードで上がると反則負けになります。8切り、Jバックの発生する特殊カードで上がっても反則負けになります。また複数枚出したカードにジョーカーがまじっていても反則になります。階段に含まれる8とJのカードは特殊状態が発生しないためか、反則上がりにはなりません。

#### 10・バグ

ピグの「大富豪」には多数のバグがあります。その中には戦術にも組めるほどの致命的なバグもあり、対処策を講じなければなりません。詳細は以下のとおりです。

##### 10.1・バグ返し

2以上の扱いでj kが含まれる階段の革命は、3 4 5 6などの本来返せるはずのない革命を返します。基本的にジョーカーは革命中であっても、高い数字にカウントされ、6 7 8などの階段は4 5 j kでは返せません。しかしこのバグを使えば、たとえ革命中の3 4 5の階段であっても、A 2 j kで返せます。返したA 2 j kの階段は普通に革命中の階段として扱われ、再び6 7 8などの階段で返せます。

##### 10.2・反則上がり

非革命中にJバックの状態だと、3のカードで上がれます。逆に革命中のJバックでは2のカードで上がれません。スペードの3のスペ3切りは革命中でも反則上がりになります。ただし、革命中のJバックでj kに対してスペ3切りを行った場合、反則負けにならないので注意が必要です。

##### 10.3・カード交換

カード交換のときに渡せないカードがあります。富豪のカード交換バグはわりと頻度が高く、発生条件はイマイチわかりません。大富豪のカード交換バグは前試合で誰かが反則負けをしたときなどに見受けられる傾向にあります。

##### 10.4・8とJの革命

8888の革命は8切りが発生するのに対し、JJJJではJバックが発生しません。

## 各ルームの説明

ピグの「大富豪」は部屋によってルールの設定が異なります。適応ルールは以下のとおりです。

1・白い椅子の部屋（次からホワイトと表記）

階段、革命、スペ3返し、反則上がり

2・青い椅子の部屋（次からブルーと表記）

上記のルールプラス、8切り

3・茶色の椅子の部屋（次からブラウンと表記）

上記のルールプラス、しばり

4・赤い椅子の部屋（次からレッドと表記）

上記のルールプラス、Jバック

## 各ルームの特徴

・ホワイト

クセのない基本的なルールが揃っている部屋です。「大富豪」をはじめの人にとってホワイトは入門書的な存在ですね。カードを切る感触をたしかめるのに適していますが、なれてくると他の部屋よりできることが少なく、かえって難しく感じるようになるかもしれません。このホワイトで、はじめて「大富豪」にふれたときの感覚を覚えていれば、自分はどのようなカードの切り方を好むのか、今後の成長の指針にもなります。

・ブルー

ホワイトのルールに8切りが追加された部屋です。8切りの特徴は、場を流した瞬間に自分のターンが回ってくることです。ホワイトの場合、3のカードからスタートしても引っかけがないため、上の数字のカードを出していくしかありませんが、8切りのあるブルーでは8切りによって強制的に流れを止めることができます。2のカードや革命中の3のカードを温存しなくても、8切りを利用すれば88→6というように上がることが可能なので、ゲームの展開はホワ

イトより若干スピーディーな傾向にあります。

□→□

(8 8 → 6 上がり)

#### ・ブラウン

ブルーのルールにしばりという制約が加わった部屋です。同じマークでしばられたカードは、たとえ2のカードであろうと違うマークでは出すことはできません。

□→□→x

(4 → しばり 9 → 2 x)

非常に強い制約力があるため、しばりを利用した連携は強力です。本書の攻略は、このブラウン以降がメインとなります。

#### ・レッド

ブラウンのルールにJバックのルールが加わった部屋です。8切りとしばりは自分にも恩恵をもたらせる明確なカードですが、Jバックは場にJのカードを出した瞬間から疑似的な革命状態が始まり、その恩恵を受けるのは順番的に一番最後となります。

□→□

(Jバック→4)

使用者にとって即効性のないカードで、なれないうちは戸惑うかもしれません。初心者の反則上がりが一番多いのも、この部屋の特徴といえますね。

### 「大富豪」は大富豪を落とすゲーム

勝負事の常は自分が勝つことですよね。七並べやポーカーなどの同種のトランプゲームは言うに及ばず、花札やマージャン、はてにはテレビゲーム、アーケード（ゲームセンターのゲーム）、あらゆる対戦ゲームは最終的に自分が勝つことを目的にした遊戯です。競技人口が多く、戦術的に多様性のあるマージャンには「差し込み」や「アシスト」といった他者を利用する技術もありますが、けっきょくは自分が勝つための布石です。

もちろん「大富豪」も自分が勝つことを目的としたゲームであることには違いありませんが、まったく別の要素で楽しむことができます。

発想としてはTRPG（テーブルトークロールプレイングゲーム）に近いのかもしれませんが、ヒール役となった大富豪を落とす、

### 史上初の三対一で対戦するゲームです。

視点をかえれば大富豪が、群がる勇者ご一行を蹴散らすストーリーですね。TRPGと違って手間暇のかかる下準備はいらないし、「大富豪」は早ければ一分かそこらで一試合が終わります。わずかそれだけの手間暇で、重厚なストーリーを何度も体験できるのです。カードで語る言葉は、千の言葉に優るのです。

「大富豪」はまだそれほど認知度が高くはありませんが、広く知られたマージャンにも優る要素があります。では、この世で唯一無二と言っていいTRPG型の対戦ゲーム独特の戦術を見ていきましょう。

手札を推測されることが必ずしもマイナスにならない

本題に入る前に少し捕捉があります。実際、ピグの「大富豪」は協力プレイが成立しているかといえばそうではありません。むしろ、それどころか富豪は今ある自分の地位を確保しつつ立ち回し、富豪以下の貧民、大貧民は大富豪を落とすにいくリスクを避けてワンランク上の地位を狙おうとします。

大富豪は都落ちのリスクがあるのでカードを出し惜しみする必要はありません。負ければ即最下位の大貧民まで没落ですからね。

大富豪が100%自分のためにカードを出せるのに対し、富豪は下の者に今の地位を狙われないように警戒し、貧民、大貧民はカードを温存して下克上を計ってきます。

自分が勝つことを主眼とした従来のゲーム進行では、富豪以下が勝手に争うので大富豪にはカード交換以上の有利があります。

たとえば大富豪の手札が、こうだとします。

□  
( 3 4 6 7 8 8 10 10 K 2 2 2 j k )

3 4 6 7 8 8 10 10 K 2 2 2 j k はどれも階段には使えず、マークはバラバラ。一見すると2のカードが三枚もあるので強そうに見えますが、3 4 6 7 の下のカードを処理するのに2のカードを使わなければいけないですよ。

しかし実戦では往々にして（大貧民→大富豪）、こういう席の並びで8以下のカードがあたりまえのように出てきます。もし大貧民が意識的に8以下のカードを切らなかつたら、大富豪は2のカードを使わない限り、下のカードを処理するのが難しくなります。

大貧民が大富豪に対して、徹底的に壁役となり8以上のカードを切る。そうすれば大貧民の手札は8以上のカードがどんどん削られていき、自らの上がりは遠のきますが、こうなってくると大富豪も相当に厳しい。大貧民が壁役に徹している限り、大富豪の持っている8切りの8 8 は宝の持ち腐れ。大貧民の働き次第で、大富豪は落とせるんですが、ここで富豪が現在の地位に甘んじていては大貧民の働きも無駄になってしまいますよね。

市民は数で優るので、一致団結すれば時の権力者にも勝てる力を秘めていますが、意思がばらばらではそれも叶いません。

まずは誰かが率先して損な役回りを受け持たなくては協力プレイする場には発展しません。協力プレイの流れに持って行けるかどうかは、プレイヤー一人一人の判断に委ねられます。そのうえで本書は協力プレイよりも解説していきますが、先に紹介した（大貧民→大富豪）、この並びの大貧民を壁役としたように、大富豪を落とすという意味で統一された場では、ある程度の法則が生まれます。

たとえば（大富豪→富豪）、こういう並びで大富豪の出したAのピンを全員がパスするとします。富豪以下は2のカードを持っていれば基本的に出すので、富豪は貧民と大貧民に2のカードはないと判断できるのです。

従来の自分が勝つための対戦ゲームでは、自分の情報の漏洩はマイナスに繋がりますが、こと協力プレイにおいては大富豪を落とすリーダー役である富豪に情報を伝えることは、非常に重要な意味を持ちます。

## 四枚目の2のカードにジョーカーを切る

「大富豪」はトランプカード54枚あればどこでもでき、ルールのほうも、ばば抜きのように手札をなくせば勝ち。とてもシンプルかつお手軽で、一度ルールを覚えたらそれほど難しくはないゲームです。いくつかのセオリーを覚えて、場に出されたカードをひたすら暗記していけば、それだけでかなり有利に立ち回れます。

たとえばセオリーですが、四枚目の2のカードにジョーカーを切れば、主導権を握る手段が奪われて困難になるといった具合です。瞬間的に行う暗記は個人の資質によるところが大きいです。セオリーは経験を通して、また知識体系としてじっくり時間をかけて覚えることが可能です。

はじめはカードの枚数を覚えられなくても、ゲームをやっていくうちに戦術的にしぼり（カードのマーク）などを利用するようになり、カードの数も体感的に何枚くらい残っているかわかるようになっていきます。

## 各ポジションの立ち回り方

ポジションとはプレイヤーの席順ですが、「大富豪」において席順を意識した立ち回りはかなり重要です。協力プレイに必須である連携はプレイヤー一人一人が自分の役割を意識していないと成立しません。下記の図は、典型的な連携プレイを生み出す席順です。



### ・大貧民

壁役。大富豪に対して厳しいカードを切る。上述でも少しふれましたが、大貧民が8以上のカードを切る限り、大富豪はAや2のカードを消費しないと下のカードが処理できません。一見、壁役は大富豪を上げさせないための役回りで、守備的なイメージをもたれそうですが、大富豪の主力カードを削るという意味では非常にオフェンシブな立ち位置にいます。いくなれば攻撃型の要塞ですね。

守りから攻めに意識改革できるようになってくると、初手でKのカードを切るなど守り側から

大富豪に対してプレッシャーを与えられるようになります。しぼりを利用した連携は後述。



#### ・貧民

トス役。大貧民の出したカードを受け取る。大貧民の出すカードはその役割から非革命中なら8以上が多く、それを富豪が受け取っては富豪の手札も8以上のカードが削られていきますよね。そこで貧民がトス役となって大貧民のカードを受け取り、次の自分のターンで富豪に援護する。大富豪のカードを押さえて富豪に援護することも重要ですが、それ以上にこのポジションで大切なのはスルースキルです。

スルーとは何もしないこと。少し考えればわかることですが、大富豪の出したカードにカードを被せると、富豪はそれ以上高い数字のカードを出さなくてははいけません。具体的には大富豪が4のカードを出して、貧民が9のカードを出す。

#### 4（大富豪）→9（貧民）

こうなると富豪は10以上のカードを切らないといけませんよね。かといって何もしなければまったく富豪の援護にならない。場の流れを読んでカードのマークをかえたり、しぼりを利用してペア→ピンなど大富豪の待ちをかえたり、その立ち回りは微妙なさじ加減を必要とします。（○→大富豪）の壁役ほど明確なカードの切り方がないため、なれないうちは窮屈に感じるかと思います。しかしなれてしまえば、カードの切り幅は段々と広がられます。



たとえば一度貧民が富豪の後ろで（貧民→富豪）、4のカードを切って援護をしたとします。このとき富豪がしぼりなしのAのピンを切れば（4→A）、4からAの間のピンがないのだと推測できます。

ならば上記の例でいえば、大富豪が4のピンを切ったなら、貧民は富豪の手札に浮いたピンはないと予測し、自分の手札から9のピンを出せるという仕組みです。このとき切る9のピンは大

富豪の嫌うマークだと、さらに良し。(大富豪→○)のポジションは非常にデリケートなため、詳しくは追々説明していきます。



### ・富豪

遊撃。大富豪の対面にあたり、上記で説明した二つのポジションのちょうど中間の性質を持っています。壁役が苦しそうなら(○→大富豪)、壁役にかわって高めのカードを出す。トス役が攻めているのなら(大富豪→○)、しばって援護するなど柔軟な立ち回りが要求されます。

壁役やトス役のような制限がないため、精神的には一番楽なポジションなのかもしれませんね。富豪は大富豪を落とすリーダー的な存在ですが、必ずしも自らが攻める必要はありません。

## 攻め手による立ち位置

本書で紹介する「大富豪」は協力プレイを前提にしているので、大富豪対三人という性質上、富豪、貧民、大貧民にそれほど明確な区別はありません。富豪が弱ければ周りに頼っていいし、大貧民の手札に攻め手があるのなら、大貧民を中心に大富豪を落としにいけばいいのです。

### ・○→大富豪

たとえば壁役が攻め役となった場合、下図の席順だと富豪は貧民と大貧民からサポートを受けますよね。



富豪は全力を出し切って、最終的に5のピン待ちになっても貧民か大貧民に3のカードを出してもらえば(3→5)と上がれます。

大富豪の後ろの壁役は攻め役になると、途端にその性質は一転して、非常にアグレッシブなものとなります。攻守が明確に分れたポジションで、二人分のサポートが受けられる、もっとも奇



襲が成功しやすいポジションともいえます。

富豪以下の貧民、大貧民が壁役でありながら攻めるということはアシストをさえあれば上がれると合図を送っているようなものですが、



上図のように富豪が壁役のポジションだった場合、大富豪が前にいるので8以下のカードをどう処理するのが課題になります。対策の一つになりますが、富豪の後ろの者が（○→富豪）、Jバックを切る。タイミング次第では邪魔になってしまうこともありますが、それはそれで、その情報を周りに知らせることが可能です。

カードの支配率が四分の三にも及ぶ富豪サイドにとって、他者に情報を伝えるということはことさら重要です。

・大富豪→○

自らが上がりにくい席順。



大富豪の前に富豪がいると（大富豪→富豪）、貧民もしくは大貧民の援護がすべて大富豪越しになります。この席順で富豪が自ら上がろうとした場合、当然大富豪に阻止されますよね。そこで富豪は貧民、大貧民の力を借りなくても上がれる手札を作る必要があります。

手札作りの方法は二通りあって、一つは強いカードで押さえてから弱いカードを捨てて上がる。「大富豪」のオーソドックスな上がり方の一つですが、非革命中に2 j kなどで押さえてから、3のカードを出して上がるといった感じです。大富豪がいくら妨害しようと、2 j kに割り込めるカードはないので、確実に上がれるというわけです。

もう一つは、弱いカードを持たずに強いカードのみで上がる方法です。仮に富豪の手札が残り一枚で、Aのピンだとしましょう。大富豪の手札がいくら強くても、革命もなく、浮いているピンのカードがある限り、富豪はAのピンを出して直接上がれるといった具合です。

2 j kで上がる方法は手札に余裕があるときですが、AのピンやKKのペアで待たなければならない状況というのは、たいてい戦力的に不利な状況です。

この席順での富豪は（大富豪→富豪）、自ら上がる手札作りだけではなく、貧民や大貧民の「攻めの合図」を見逃してはいけません。貧民と大貧民も、このポジションの富豪は辛いのだと認識して、いつでもヘルプに入れるように注意して見てなくてはなりません。

たとえば富豪が弱い場合、わざと大富豪の出した4のカードをパスするなどして、貧民と大貧民のどちらかを能動的に攻めさせる工夫も必要です。

・大富豪→△→○

大富豪を攻めるうえで理想的な席順。



上図では大貧民が壁役となり、貧民がカードを受け取って援護する。富豪にしてみれば理想的な環境ですが、必ずしも富豪が強いとも限りません。貧民が強いのならお互いにカードを出し合って、つぶし合わないようにする。大貧民が強いのなら、いったんカードを受け取って、下のカードを処理しやすいようにJバックを出したり、8以下のカードをしばらせたりする。

先に紹介しましたが、大富豪を落とす三対一というゲームの性質上、富豪、貧民、大貧民にそれほど明確な区別はありません。

基本は富豪を中心にした攻め方ですが、大切なのはどこのポジションが「上がり役」か。いち早く、上がり役を察知し、三者がバッティングしないようにカードを切ることが協力プレイのコツです。そのためにはスピーディーに上がり役を見つけるためのスキルが必要不可欠で、そのあたりの技術は次の章から紹介します。

### 大富豪のカードはしばらない

しばりはたとえ2のカードであろうと、同じマークでない限り出すことができない強力無比な制限です。しばりを利用した連係は大富豪にとって、やっかい極まりないものですが、それゆえ逆に利用してくるケースもあります。



たとえばこの席順で富豪がダイヤの4を出したとします。富豪はダイヤのAと2のカードを持っているので（富豪→大貧民）、大貧民にしばってもらえばAのカードで受け取れるんですが、ここでハートなどにマークをかえてしまうと、富豪はAのカードで受け取れないどころか、

ハートの9（大貧民）→ハートのA（大富豪）

大富豪にしばられてターンを奪われてしまうというわけです。特に勝負所ではマークを揃えて出してくることも多く、大富豪のカードは無闇にしばらない、反対に富豪のカードは、ときには999などのスリーカードを崩してでもしばる必要があります。これら一連の流れを「しばり連係」といい、詳しくは次章で紹介します。

### 初手でペアは出さない

初手とは大貧民のスタートから切られるカードのことで、ペアスタートはあまりお勧めできません。そのあたりは手札と相談なのですが、理由としては単純に富豪がカードを受け取りにくいということ。



もちろん富豪が初手でペアが欲しいときもありますが、「大富豪」というゲームはいわば弱点の探り合い。富豪がペアに弱い場合、大富豪につけ込まれる可能性があります。戦術的にペアの流れになったとしても有利に進められる手札なら、初手でペアを切るのも大いにありということです。

逆を言えば初手で大貧民がペアを切るということは、手札がなんらかの形になっており、富豪はそのことを計算に入れて立ち回ることができる。逆に大富豪は大貧民の動きにも警戒しなければならない。劇薬も少量なら薬になるのと同じで、効果的に使えば有効です。

今ここで紹介した「初手のペア出し」に限らず、このように攻め役が増える合図を意図的に送ることを「攻めの合図」と呼びます。

基本的なことは以上で終わります。これまで紹介したルール並び基本は若干硬めの文体だったので、次章の応用ではガラリと様相をかえて、もう少しわかりやすく解説していこうかと思えます。

### 第三章\_登場人物の紹介

---

□  
名前：ラビットさん

性格はわりと神経質

「大富豪」のスタイルは臨機応変、どんな環境にも合わせる  
口癖は「なによ」

□  
名前：うさぎちゃん（うさこ）

性格は明るく大ざっぱ

「大富豪」のスタイルは感覚、どんな環境でも迷走する  
口癖は「目からウロコ」

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者＝きんぎん氏

1 - 1 ペアにペアを重ねる技術


プレイヤー：うさぎちゃん


席順：以下の通り




手札：以下の通り


□  
(4 4 5 5 8 8 9 9)


 ここは大富豪が7 7のペア出したから9 9だね。ふっふふ～ん♪ これで大富豪がパスしちゃうと5 5出して8 8→4 4フィニッシュ、もしかしたら勝てちゃうかも～。大富豪さん、パスして～。

 パスなんてするかあああああああ、この、バカチンツツツツツ！！！！

 いた～い、いったいなにするんですか！ ハリセンで水平に目元はやばいっすよ、ラビットさん。わたし、訴えたら勝てますよ？

 そこで黙りこくれ。

 ひいい、グーでこめかみグリグリしないで（涙）

 ええい、さっきから黙って見てれば邪魔ばかりして！ うさこが余計なカード被せてばか

りだから、いつも一手差で負けてるじゃない。



どーでもいいですけど、今ゲーム中ですよ？



スッパパン!!! (ハリセン)



あいたたた。



あんたの持ってる 8 8 は飾りか。



えええ!?



大富豪のカード切り方、明らかにペア待ちでしょ。



え、そうなんですか？



前に教えたでしょ、ペアにペアを重ねて止めるのは「大富豪」の基本だと。大富豪の手札は残り三枚、さっき大富豪が出したAのピンに誰も2のカードを出さなかったということは残り枚数から考えて、大富豪は〇2 2で待っていることは明らかでしょ。



大富豪のA、みんなパスしましたっけ？



スッパパン!!! (ハリセン)



きゅう〜。



あんたの目は飾りか。ちゃんと見ておけ、このバカチン!



は、はい、すみませんでした (目元はやめて)



大富豪がj k使ったとき、あんたスペ3出したでしょ。



ええと、そうでしたっけ？



(ジロリ)



——ああああ、思い出しました、そそ、はい、間違いなくわたしがスペ3切りました (ひえええ)



うさこ、カード交換で富豪にj k渡したでしょ。



ええと、う、うん (どうだったかな><)







どんだけショック受けてんのよ。

「だって、せっかく揃ってるのに崩すなんてもったいないじゃないですか！



あのね、手札を崩すなんて初歩の初歩よ。ほら見てみなさい、大富豪の出した一枚目の2のカード、パスしたでしょ。



うん。



で、二枚目の2のカードにj kを切る。



.....あ、本当だ。



2 2だと防ぎようがないけど、2、2とバラで使わせたら、いかようにも対処できる。



おおおおお、す、すごい。あの富豪さん、大富豪の手札に2 2あるのわかってるみたいだった。



あんた以外、全員わかってるわよ。



すごいですね、まるで手札が透けて見えてるみたい。わたしもあんなふうにカッコよくわかるようになれるかな？



無理ね。



あああああ、今、言いにくいこと、さらっと言いました！



べつに言いにくくないし。



むぐう。



あんた、自分が勝つためにゲームしてるでしょ。



え、そのどこがいけないんですか？




自分が優先だと、大富豪に上がられてもいいや、って感じの切り方になるでしょ。さっきのあんたが、そうだったみたいに。




ううう。





大富豪に上がられるリスクに関心がないから、どれが危険なカードか、わかる必要がない。必要がないものは、いつまで経っても身につかないものよ。

 え、それじゃみんなは必要としてるんですか？ その、大富豪に上がられないための方法とか。


 さあて、さっきの大富豪の22待ちを読むのはそれほど難しくないからね。


 もう、どっちなんですか。

 それはあんたが、追々自分のために必要になるか判断していけばいいだけのこと。これからうさこが、どういうスタイルになるかわからないけど.....。


 わたし、ラビットさんみたいに、ガンガン大富豪を落とすスタイルがいいです！

 あ、そう。


 うう、なんか冷たいな。


 わたしはリアリストだからね。本当にそう思ってるんなら、言葉じゃなくカードで語りなさい。


 よし！ わかった、がんばる。


 どっちにしろ、あんたは相手の手札まったく読めないから、少しは連係プレイを意識したほうがいいわね。


 連係プレイ？

 大富豪以外の残り三人が一丸となって、大富豪を落とす、これが連係プレイよ。あんたさっき88切って、44崩したでしょ？

 .....う、うん（ラビットさんに言われた通りに切っただけですけど）

 自分の勝ちは二の次で、大富豪を落とすことを最優先に考える。結果、思案することも多くなって、相手のカードを読もうとする習慣が身につくでしょ。

 あ、なるほど。必要は発明の母ですね。

 あんた、バカのクセに、そういうことわざだけしってるんだね.....。

## 捕捉

ペアにペアを重ねてくるのは基本です。たとえば上記のシチュエーションで実際にやってまし

たが、ペア待ち対策に有効となるのが、8切りを使った88→4出しの待ちチェンジです。8切りは行使したあと、すぐに自分のターンとなる強力な特殊カードですが、今回の待ちチェンジは、その特性を最大限に活かしたものです。

実戦では10j kなど、j kを組み合わせると10j k→22と、22を出すための道筋を作ったりしますが、イレブンバックが使える環境ならJJで回避も可能です。

また、しばりによって99→しばりQQ、強引にペアを止めてピンを出す方法もありますが、大富豪はカードのマークを揃えてくるので注意が必要です。しかしその反面、富豪のペアをしばって99→しばりQQ→パス（大富豪）、大富豪にペアを出させないペアしばりの関係プレイもあります。しばりによって富豪が上手くペアを出せなかった場合は、富豪の待ちをかえないように再度ペアを出すなどのフォローが必要です。

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原作者 = きんぎん氏

1 - 2 カードはせこらない

プレイヤー：うさぎちゃん

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□  
(4 4 6 6 6 8 8 9 Q K A 2)



このバカチンツツツッ！



ひえええ、ラビットさん、いきなりハリセンで叩いたら読者はわけがわかりませんよ。



メタな発言はいい。



それにしても体罰が御法度のこの時代に、よくそんな簡単に人をスパパンって叩けますね？



わたしゃ、相手を選んで叩いてるよ。





え、それってわたし素質ありってこと？





叩かれる素質はあるわね。


 むぐう。


 そんなことより、あんた今、カードせころうとしたでしょ。


 ええと、そんなことないですよ。ちゃんとわたし、となりの富豪に上がってもらうようにQ切ろうとしたし。

 それが、せこいっていうのよ。


 えええええええ。


 富豪、革命してから残り一枚になるまで、ずっと8以下のカードばかり切ってたでしょ。

 うん、みんな8以下のカードだからパスしてたし。


 そこからしてアウト。


 え？

 富豪の席順を見てみなさい。前に大富豪がいるでしょ。


→  富豪  →  大富豪  →  大貧民  ↓  
↑  貧民 (←うさぎちゃん)

富豪→大富豪


 あ、そういわれればそうですね。で、それが何か？

 スッパパン！！！（ハリセン）


 あいたたた。

 それが何かじゃない。

 えええ？


 前に教えたでしょ、大富豪の後ろの席順の富豪は「壁役」も兼ねていると。


.....あ。


あ、じゃないわよ、ったく。壁役を兼ねた富豪は大富豪に甘いカードが切れない。そこで貧民のあんたと大貧民とで、富豪のフォローに回らないといけないのにぼーとしてたでしょ。


ううう。


そこからしてアウトっていつてるのよ。


富豪のカード、受け取ればよかったのか><


革命中、8以下のカードで回すのは基本中の基本よ。


あ、ちょっと待ってください。そこはわかりましたが、なんでQじゃダメなんですか？

Qってわりと高めのカードじゃない、って顔してるわね？


う。そ、そんなことないですよ。


.....じいいいい。


い、いや、そ、その..... (イヤだな、この人)


富豪が残り一枚のピン待ちになる前に、何を切ったか覚えてる？

え？


ま、覚えてないでしょうね。


いや、そんなことないです。たしかあのとき違和感があつて、なんか思い出せそう.....あと五分待つて。

.....べつにいいけど、今ゲーム中だよな？


あ、そうでした。


わたしが時間の流れを操作するにも限界があるわよ？


 (ラビットさんって、そんな設定だったのか.....)


そんなわけで時間ないから言うけど、富豪が直前に切ったのは8切りからのA出し、8→Aね。

□→□→残り一枚□  
(8→A→残り一枚?)


 それ、それよ！ 8切りしてA出すってことは、革命中だし富豪の残り一枚は8切りより低いカードってことだよ。


 力説どうも、でも逆よ、逆。

 ええ、あっさり？


 ちょっと想像してみなさいな。たとえば富豪の手札が、6 8 Aだとするでしょ？ この手札から、うさこなら何を切る？

□  
(6 8 A)


 わたしなら、6ですね。

 そう。大富豪はことごとく8以下のカードパスしてる、ここで6切っておけば8 A、つまり8切りで待てるでしょ。

 .....あ。

 つまり8切ってピン出してるってことは、富豪の残り手札一枚は8以上のピンと読める。それも直前にA出したから、A以下のK、Q、10、9あたりの中間だね。

 す、すごいラビットさん。

 ぜんぜん、こんなのすごくないわよ。ついでに言えば、Kは高すぎるから、いくら富豪が大貧民、貧民（うさこ）からアシストを受けられる席順とはいえ、

→ + 富豪 + → 🏆 大富豪 🏆 → 🏠 大貧民 🏠 ↓



↑ **貧民** (←うさぎちゃん)

大貧民→貧民→富豪



Kのピンで待つとは考えにくい。上がり役の富豪に上がってもらおうにも大貧民、貧民（うさこ）にAか2持ってないと差し込んでもらえないからね。



いちお（KA2の階段）持ってますけどね。



まず富豪の革命だけど、上がりきれぬ手札でもないのに早々に革命した。これの意味するところは？



えっと、革命しないと勝てないから……？



ま、正解でいいか。簡単に言ってしまうと、上のカードがなくて上じゃ勝負にならないと判断しての、半ば大貧民、貧民（うさこ）に勝負を託した「おまかせ革命」だった。でも誰も攻めてくれないから（チラ）



ううう。



仕方なく富豪自らが攻めた。早々に革命したツケとして残ったのが上のカード二枚、このカードの処理いかんで勝負は分れる。選択肢としては（8〇）の形で二枚残して8切りで待つか、それとも（残り二枚だとペア待ちに間違えられるから）うさこでもわかるように、あえて8切りしてピンで待つか。

□or□

（二枚or一枚）



富豪は少し悩んで、後者のピン待ちを選択したのよ。よ一するに、うさこ（貧民と大貧民）を信じたのね。



ああああああああああああああああああああ。



ようやくわかった？





.....富豪が捨て身で、わかりやすく8切りしてくれてるのに、わたしったら.....手札を崩したくない、2位になりたい、あわよくば出し抜いて1位になりたい、そんなことばかり考えてて。



そこまでいくと、かえって清々しわね？

## 捕捉

連係プレイは信頼関係で成り立ってます。もし上記のような確実に上がれる場面で、保身を考えた切り方をしますと次のプレイにも影響が出ます。富豪に「信用がならない」と判断されたら、アシストを考慮した捨て身のアグレッシブな攻めもできなくなります。

上記のシチュエーションだと、貧民（うさぎちゃん）がQを切り、富豪がパスしたら、そのまま大富豪のところに8以上のQのカードが回りますよね。もしそれで大富豪に上がられたら、それは周り（うさぎちゃん、大貧民など）を信用しすぎた富豪の判断ミスとも言えます。プレイ中は相手を観察して、相手に合わせたプレイを心がけるのも、連係プレイのコツです。

## アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

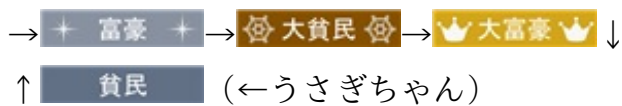
(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者 = きんぎん氏

1 - 3 カードの受け取り

プレイヤー：うさぎちゃん


席順：以下の通り





手札：以下の通り


□  
(4 4 8 8 9 9 AA)





 うう、なんか言ってくださいよ。どうせまたわたし、ヤバイことしたんでしょ。今、コメカミのあたりピクってなったし。


 じゃあ、叩いていい？


 そうやって予告されると、痛みを覚悟する恐怖が増えるぶん、損しちゃうというか。


 スッパパン！！！（ハリセン）

 あいたたた、次からは予告なしで叩いてくれませんか？


 や・か・ま・し・い。

 えーん、こめかみグリグリしないで（涙）


 あんた、さっきからぜんぜん受け取りしてないでしょ。

 え、受け取りってなんですか？

 カードを受け取って、攻め役の富豪にアシストすること。


 へえ、そんな技術あるんですか。

 わたし、あんたと試合して何回も見せてるんだけどね。


 ううう、今さり気にバカにされました。


 さっき富豪が一枚目の2にj k切ったでしょ。


□ええと、たしかそうだったような気が.....あれ、どうだったかな？


 あんたの記憶力を疑ってたら、ちーとも先に進まないから、スルーして話進めるけど。


 うう、またバカにされました。

 富豪が早々にj k切ったってことは、j kを早く使っても勝てる自信がある、つまり相当余裕のある手札ってわかるでしょ？

 なんとなく、そのくらいは。


 パターンとしてはj k二枚とかガメてて普通に余裕がある、もしくは2 2 2ガメてて、最後の一枚の2にj kを切った。前者は放っておいてもほぼ勝てるんで、それほど気にしなくてもいいけど、問題は後者ね。


 後者って、最後の2にj k切ったってやつですか？

 そう、もし仮に富豪の手札に革命を返せる手札、たとえば3 3と「9 J Q j k」の革命があったら、慌ててj k切る必要ないでしょ。


□と□

(3 3と9 J Q j k)


 .....え、なんでですか？

 あんた、生きているうちに少しは頭を使いなさいよ。


 うう。

 仮に富豪が j k を切らなくて、大富豪に革命されたとしても、


2 (大富豪) → 革命 (大富豪)


 3 3 と「9 J Q j k」があるから、スリーカードや階段で攻め続けられない限り、


3 3 (富豪) → 革命返し (富豪)


 3 3 使って、すぐに革命返せるでしょ。つまり富豪が一枚目の 2 に j k 切ったってことは、3 3 もなければ革命もない。よーするに革命に弱いカードって言うてるようなものなの。


 ああ、そういう意味でしたか。


 むしろそれ以外に、どんな意味あるのよ。


 いや、ちょっと高度に考えすぎたかな。


 是非、聞かせてほしいわね。


 そ、そのうちレポートにまとめます。

 ちなみにこういうケースでは先に革命したほうが、j k 使って革命してるぶん、不利な状況。シビアな立ち回りが要求されるのよ。


 ラビットさん、革命中の立ち回りにはうるさ.....いえ、厳しいですからね。


 この試合も革命こそしてないけど富豪が j k を使ってるぶん、いくら富豪に上のカードが寄ってるとはいえ、シビアな状況なの。


 あ、なるほど、それでさっきからピリピリして――


 スッパパン!!! (ハリセン)


 あいたたた。

 余計なことばかり気づくわね、あんた。








 まだ、話してる途中なのに。

 富豪のjk切りで、上がり役が決まったから、あんたはべつに手札作りにこだわる必要がないでしょ。

 ええええええええ。

 うさこの席順と手札は、こうでしょ。

席順：以下の通り

→  富豪  →  大貧民  →  大富豪  ↓  
↑  貧民 (←うさぎちゃん)

手札：以下の通り

□  
(4 4 8 8 9 9 AA)

 あとはこれを利用して――

5 (富豪) → しばりQ (大貧民) → パス (大富豪)  
→ A (貧民) → 全員パス → 4 4 崩して 4 (貧民)



とまあ、こんな感じで富豪を中心に攻める。これが、もっともオーソドックスな「しぼり関係」の流れね。



うわ、ムズ……こんなのわたしにできるかな。



無理ね。



きっぱり言わないでくださいよ。



あんたまだ、誰が攻め役かわからないでしょ。



攻め役……？



たとえばさっきの富豪のjk切り、あれは自分の手札を周りに伝えるだけではなく、「自分が攻める」という合図でもあるのよ。



へええ。



攻め役が決まったのなら、自分が上がるための手札作りの労力をサポートに回せる。逆を言えば、カードを崩してアシストできないってことは、誰がどのくらいの信頼度で、どのタイミングで攻めているのか自分の中で見極められてないと言ってるようなものね。



うう、まったくわからなかった><



今回のケースは革命さえこなれば勝てると言ってるようなものだから、わたしならフルアシストに徹するわね。

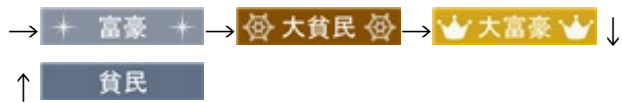
## 捕捉 その1

富豪（または攻め役）を挟んで、貧民と大貧民がカードを受け取ることをカードの「受け取り」といいます。このカードの受け取りによって、富豪は主力のカードを温存でき、スムーズに試合を運ぶことができます。

しかし一方で、あまりにカードを崩しすぎても、いざというときに大富豪を押しえきれず、逆に手札をさらしすぎたせいで、大富豪に利をもたらすこともあります。攻め役の信頼度によって、自らが攻撃要員となるための手札作りと、アシストのバランスを考えるのが「受け取り」のコツです。

## 捕捉 その2

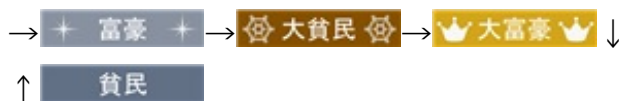
もう少し高度なケースでの受け取り例。



席順は「1 - 3 カードの受け取り」の展開と同じで、富豪の手札は残り二枚という状態です。大貧民は壁役なので大富豪に甘いカードを切れず、8以上のカードもないので、66切りを選択しますが、

66（大貧民）→全員パス

その後、大貧民はJJ（イレブンバック）を切りますが、それも全員がパス。貧民は富豪が低めのペアで待っていると誤ってのパスだったので、ここは777を崩しての受け取りが正解。富豪は貧民の出した66をパスしているので、77以上のペアを持ってないことは明白です。持っているとしたら66以下のペアで、イレブンバック中に77を出されても、しばらく限り邪魔にはなりません。



貧民→富豪

あとは受け取りの際に崩した777のあまり、7のピンを差し込めばアシストの完成になります。このようにカードの「受け取り」の最大のメリットは、富豪（または攻め役）の後ろの席でターンを得ることにより、サポーターでありながら能動的に試合をコントロールできることにあります。

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者=きんぎん氏



1 - 4 情報の関係プレイ

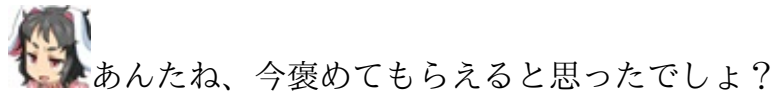
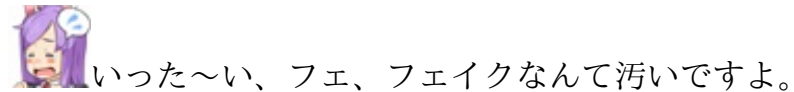
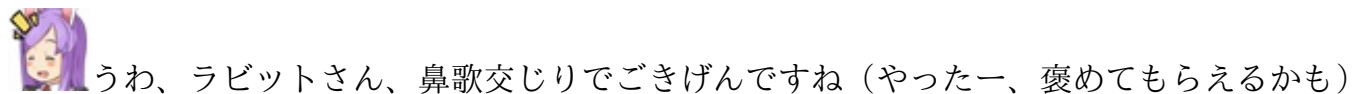
プレイヤー：うさぎちゃん

席順：以下の通り





手札：以下の通り


□  
(3 3 5 8 9 Q K)





 う、うん。


 そこにムカついたのよ。


 だ、だってがんばってアシストしたじゃないですか。


 それが余計だって言ってんのよ。


 えええええええええ。


 いいこと、j kはすでになく2のカードは残り一枚で、大富豪、富豪ともに残り枚数は二枚でしょ。


 うう、だからペア切ってアシストしようとしたんですよ。

 あのね、大富豪も残り二枚でしょ。

 .....あ、そっか。


 なに、どうしたのよ？。

 ぜんぜん、気づきませんでした。

 スッパン!!! (スリッパ)

 きゅう～。


 ちゃんと見とけ。


 うう、スリッパで叩かれました。

 いちお聞くけど、あんたがペアを切った理由は？

▣ええと、富豪さん残り二枚になる前に手出しで8切ってたから.....かな？

 なんでわたしに聞くのよ。

 うう、だってわたし、ラビットさんみたいに相手の待ちとかわからないもん。まだ2が残ってたとかもわからなかったし。

 問題はそこよ。

 え？



うさこはうさこなりの読みでペアを切った。そこはいいのよ、わたしも失敗や読み違いはするし、ましてやうさこに「間違えるな」ってほうが無理あるから。



今、さらっとヒドイこと言われました。



よーするにあんたの手札には、富豪の待ちを特定する判断材料が足りなかった。それにも関わらず、あんた、しばらくで回ってきたQにK被せて、強引に大貧民からターンを奪ったでしょ。



う、うん（冷や汗）



理由は？



か、かっこよくアシストして、そ、その.....ラビットさんに褒めてもらおうと思ったからです。



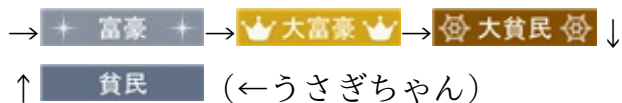
それで負けてたら、最高にかっこ悪いわよね？



そ、そうですね。



もし大貧民の手札の中に、大富豪と富豪の手札を予測し、なおかつ場をコントロールできるカードが眠っているとしたら、あんたが見栄を張りたいばかりに握りつぶしたことになる。



そもそも席順的に大貧民の次にあんたの番なんだから（大貧民→貧民）、カード消費させてまで強引にターンとらなくてもいいでしょ。それをあんたはかっこいいところ見せたいばかりに――



も、もういいですって、充分わかりましたから。




今回ばかりはちょっとはこりたようね。見栄や自尊心のためにカード切るなんて、ただの勝ちたがりとそうかわらないわよ（ニヤニヤ）




き、肝に銘じておきます。




ちなみに富豪の待ちはピンなんだけど。


 ええええええ？


 席順的に富豪は貧民、大貧民の二人からアシスト受けられるでしょ。

→  富豪  →  大富豪  →  大貧民  ↓  
↑  貧民 (←うさぎちゃん)


大貧民→貧民→富豪


 富豪からすれば、うさこみたいな宇宙人もいるから、できる限りピンで待ちたい。残り一枚なら、いくらうさこの四次元的な頭でも何待ちかわかるじゃない？


 うう、語尾にクエスチョンマークいらぬです。


 富豪は事前に8切りして、なおかつそれまでのペア攻めで大富豪はペアを嫌ってた。もし富豪の残り手札がペアなら、大富豪の嫌ってるペアを切って8切り待ちか、もしくは事前に8切ってピン待ちを選択してる。


- ・ペア切り→残り二枚（8切り待ち）
- ・8切り→ペア切り→残り一枚

 え、えと、つまり??

 つまり大貧民が最後の2を持って、富豪を援護しようとマークを揃えて（うさこに8切りからペアにかえられないように8以上の）ピンを出したけど、うさこが強引にターンを奪って大富豪のド本命の低めのペア、33を切った。

 よ、よーするに？

 パチン！（指鳴らし）——そして時は動き出す。

 .....（ゴクリ）



大富豪の待ちはおそらく、55あたりね。ま、見てればわかるよ。



ひええええええええええ。

## 捕捉

アシストしてもらうにはピンの形に近づけることです。富豪（または上がり役）の手札を読む側も、「ピンに近づけたうえで残り二枚」という道筋からアプローチすれば読みの精度も上がります。もし富豪の残り手札二枚がペアなら、なんらかの理由があってペアを止めているなど、そこから大富豪の手札を推測することも可能です。相手の動向を見て、自分の立ち回りを決めることを「情報の関係プレイ」と呼びます。

自分の手札からだけでは相手の手札が読めないとき、あえてスルーパスして判断材料がありそうな相手に判断を委ねる。他者の行動を通して推測する「読み」のテクの一つです。ちなみにピンの形に近づけるのは、上がり役がアシストされやすい位置にいるときです。たとえば上がり役が大富豪越し（大富豪→○）の場合は、アシストが通りにくいのでピン待ちではなく、ペア待ちにするなどの工夫が必要です。

## アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

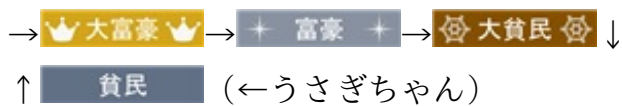
(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者 = きんぎん氏

1 - 5 カード管理


プレイヤー：うさぎちゃん

席順：以下の通り





手札：以下の通り


□  
(3 4 4 4 6 7 Q Q Q)

 ねえ、うさこ。


 はい？


 一つ聞くけど、何やってるの？

 え、どうしたんですか？ そんなの見てわかるでしょ、QQQ崩して富豪にしばらく援護してるんですよ。


 へえ、関心ね。


 ふふ、そうでしょ？ 連係プレイはカード崩せてナンボの世界ですからね。


 うさこも言うようになったわね。


へへ、それもこれもラビットさんのスパル.....いえ、ご指導ご鞭撻のたまものですよ。


ふうん、その心がけは立派なんだけどさ。


なんですか？

あんた、さっきからことごとく邪魔してるわよ。そのアシストしているつもりの富豪にね。


なんですと！


あんたが富豪の出す8以上のカードに、バンバンカードを被せたあげく、おまけにしばりまくってるから、富豪、すごく受け取りづらそうじゃない。


え、だって、Q以下だと大富豪にJ（Jバック）切られるじゃないですか。


切らせればいいじゃない。

へ？

あんた3持ってるし、いざというときは止められるでしょ。それに富豪も大富豪越しで辛いから（大富豪→富豪）、Jバックの流れはありがたいかもしれないし.....ほら、ごらんなさい富豪の動き止まったでしょ。


あ、しばったQのカード受け取ってくれない。

受け取ってくれないんじゃなく、受け取れないのよ。あんたが無駄に被せるから、もう富豪の手札にQ以上のカードがなくなったの（あるかもしんないけど）


えええ、じゃあ次にQQバラしてQ出しても.....。


全員パスじゃない？


Q（貧民）→全員パス


.....あの（冷や汗）

なに？

 もう8以上のカード、Q一枚しかないんですけど。


 そうみたいね。

 その、ラビットさん、何かアドバイスの助言はいただけないでしょうか？


 うーん、そうね、大富豪さつきからピン攻めにたえて、ずっとパスしてたでしょ。大人しい大富豪にスリーカードは御法度、あんたの持ってる444は大富豪の本命ね。


 ド本命ですか？

 ド本命だね。

 .....じゃあ、444崩して44出しとかは？

 そっちも本命だけど、連係プレイはカード崩せてナンボの世界だしね？

 うう、誰がそんなもってもらいたいこと言ったんですか。

 あんたよ、あんた。

## 捕捉

壁役の最大の特徴の一つが、この「カード管理」です。一応、おさらいがてらに説明しますが、壁役とは大富豪の後ろの席（○→大富豪）のことで、8以上のカードを切り続けることによって大富豪を苦しめるのが主な役割です。

大富豪は基本的に弱いカードを処理する前に強いカードを消費できませんから、壁役が意図的に高めのカード（たとえばQ）を切り続ければ、サポーターでありながら能動的に大富豪を苦しめることもできます。

壁役は攻めにおいても（後述）守備においても非常に重要なポジションで、守備を選択した壁役の8以上のカードは、いうなれば弾丸の数と同じです。戦場で弾が尽きれば肉弾戦を挑むしかありません。この弾丸の数の管理が「カード管理」にあたり、カード交換時に8以上のカードが少なければ、それに合わせて節約しないとすぐに枯渇してしまいます。前述した「1 - 3 カードの受け取り」も同様に無駄な受け取りが発生すると、

→  貧民 →  大富豪 →  大貧民 ↓ ※ 1  
↑  富豪 ↑



※1・富豪を挟んで大貧民のカードを貧民が受け取ってしまう。

富豪は貧民からターンを奪うために無駄にカードを消費しなければなりません。連係プレイの場ではこういうことは起きにくいですが（むしろ後述する「攻めの合図」に繋がる）、無駄な被せは大富豪に多くの利をもたらします。

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

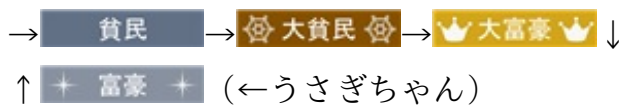
(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原作者=きんぎん氏

1 - 6 攻めの合図


プレイヤー：うさぎちゃん


席順：以下の通り




手札：以下の通り

□  
(3 5 6 6 7 9 9 J J K 2 2 j k)


 くう、大富豪AAA出したあとにKK出しか。2のカード二枚持ってるけど、もうこれ使ったらターンとれないし、ここは(3 5 6 j kで)革命しかないよね。兵は拙速を尊ぶべしなのだ


○  
 たたたたた (足音)

□ やや！？ この野ウサギが駆けるような、すばしっこそうな足音は誰だ？

 くおのおおおおおお！！！！

 ひっ。

 特大級のバカチンツツツツ！！！！

 はう、慣性つけてハリセンで叩くのはルール違反ですよ。



そんなルールないわ、ばかたれ。



うう、ハリセンで水平に目元はやばいっすよ、ラビットさん。わたし、訴えたら勝てますよ？



それ前にやった。



こめかみグリグリしないで（涙）



あんた、さっきからずっと「攻めの合図」見逃しっぱなしじゃない。



え、なんですかそれ？



大富豪がAAA切る前に、大貧民が初手で何を切ってたか覚えてる？



えっと、たしか444じゃなかったですか？

□

（444）



あんたね、たまに覚えてるかと思ったら.....てか、なんでそれ覚えてて革命しようと思ったの。



ええ、それと革命が何か関係あるんですか？



.....はああ（でっかいため息）



うう、また露骨に落胆されました。



ごめん、わたしが悪かった。



そ、そんな、見捨てないでくださいよ。とっておきのキャロットスティックあげますから、元気出してください。



うう、また買収されてしまうのか（ぼりぼり）



それで「攻めの合図」ってなんですか？



ううん、よく考えたら今のうさこには、ちとムズカシイかな。いちお教えるけど、「攻めの合図」ってのは「今からわたしが攻めますよ」という合図で、さっき大貧民が初手で4 4 4出したでしょ？



うん、思いっきり出しましたね。



あれが「攻めの合図」よ。



えええええええええ、ちょ、ちょっと待ってくださいよ、ラビットさん、てかなんで「攻めの合図」がアシストの管轄なんですか！



あんた、そのメタっぽい発言いい加減にやめなさいよ。



す、すみません、ちょっと混乱したみたいで。



簡単に説明すると、大富豪が早々にAAAで大貧民を押さえたのは、大貧民の「攻めの合図」を警戒したため。前にペアをペアで重ねるのは基本と言ったでしょ。



えっと「1 - 1 ペアにペアを重ねる技術」でですよ。



スッパパン！！！（ハリセン）



あいたたた。



あんた、ほんところないわね。



はうう。



ペアをペアで重ねるセオリーから言えば、大貧民はもう一枚か二枚くらいスリーカードを持って、そのうえで4 4 4を切ったと読むのが妥当でしょ。



うーん。



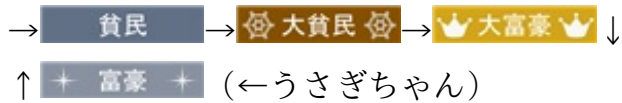
あれよあれよと大貧民を野放しにしておいたら、あっという間に大貧民の手札は一枚か二枚になる。そうなればいくら宇宙人のうさこでも、大貧民が「アシスト待ち」の状態ってわかるでしょ？



うう、そこまでいけばさすがに。



大貧民からすれば富豪が大富豪越しなんで――



大富豪→富豪



自ら上がりにくい富豪にかわって、攻めようとする心理も働く。本来、富豪のうさこが必死になって上がり役を探す立場&ポジションだということに、こんなわかりやすい大貧民の「攻めの合図」を見逃してたのよ。

□ガーン。



しかも何度もね。



うう、ま、まだ他にもあったんですか？



あるある。壁役の大貧民のJスタート、貧民の8切りからのペア攻め、富豪のKKにAA被せetc.....。



く、苦しいです、胸が。



なんで「攻めの合図」がわからないと思う？



うう、バカだから？



それもあるけど。



否定してくれないんですね。



うさこのフゴウには攻めがないの。



え、それってどういうことですか？



大富豪の弱みを握ったら、徹底的に落ちるまで攻め抜く。たとえばペア攻めなら、大富豪が根を上げるまで、とことん追い込む。その結果、力尽きることになっても大富豪のj kでも削れればオッケー。




ううん、わたしラビットさんみたいに狂暴.....いえ、攻撃的な性格じゃないんで、そういうのはちょっと。




スッパパン！！！（ハリセン）


 あうう。


 やかまし。

 うう、そんなのわたしに無理ですよ。


 自分から攻められないから、相手の「攻めの合図」も見落とすのよ。つまり攻めの合図がわからないってことは＝オフェンス力がないと言ってるも同然。オフェンス力のない富豪は誰からも頼られないし、頼ることもできない。週末には孤独死を向かえてる老人みたいなものよ？


 ちょ——ら、ラビットさん、飛ばしすぎですよ。

 はっきり言って「攻めの合図」がわからないと、あんたに何度も何度も攻めを止められるから、ものっすごく邪魔に思われるわよ？

 わ、わかりました、わかりましたよ。てか、世の中に不満でもあるんですか？

 いや、まったく。

 彼氏となんかあったんですか？ いや、そんなのいないですよ、いつもカリカリしてるし（ボソ）

 スッパパン！！（ハリセン）

## 捕捉

ほどほどの相手に勝つにはほどほどのプレイで充分ですが、相手が遙かに強大なとき、通常の攻めでは落とせません。「攻めの合図」は通常ならざる難敵に打ち勝つためのテクです。そのメリットと方法論は多岐に渡りますが、基本的な理念は大富豪を道連れにする「玉砕」です。

一番オーソドックスな方法としては席順を利用したアシスト待ち。大富豪からすれば手札をどんどん減らされて、最終的には5のカード一枚だけ残して待たれても、簡単にアシストされてしまうので、そうなる前に押さえようとします。このとき大富豪に主力のカードを出させて、攻め役は玉砕するかもしれませんが、その先導によって、血路が開かれます。以下は、攻めのパターンの一例です。

### ・カード被せ

初手の6に2のカードを被せてくるなど。

□→□

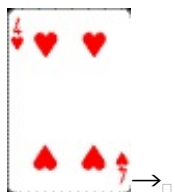
(6 → 2)

- ・ 富豪に対して (貧民→富豪) やけにしぼる

□→□

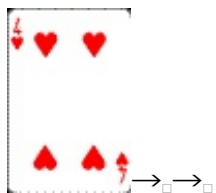
(9 → しばり10)

- ・ 富豪に対して (非革命中) 8 以上などの出しづらいカードを切る



(4 → K)

- ・ 待ちをかえる



(4 → 8 切り → 6 6)

富豪のペア出しをピンにかえるなど。大貧民の初手8以下ピンを貧民が8切りしてピンやペアなどを出す、こういうのも地味に攻めの合図の一つです。

- ・ 大富豪に甘いカードを切る

□or□

(4 or J バック)

基本的に「攻めの合図」はカードの切り方が強気、強気、強気。特に壁役は席順的にアシストも受けやすく、大富豪が前にいるので自然とカードの切り方もメッセージ性が強くなります。攻めは最大の防御と言いますが、アシストは攻めが加わることによって、はじめて完成型となります。

そして、「攻めの合図」も、ただバッティング（富豪以下でカードのつぶし合い）しないように見逃さない、だけでは半分です。他者に攻めさせる「きっかけ」も作れないといけません。大富豪の出した7あたりのカードをパスすれば、富豪は弱く、周りに攻めを促すこともできます。しかしそれも普段から富豪がカードを出しているからこそ、カードを出さない状況が「非常事態」と目に映ります。ペアが欲しいからといってカードをパス、22を崩したくないから大富豪の出したAをパス。要所、要所ではそういった駆け引きもありますが、こういうプレイが目立つと、

- ・富豪が弱いと思ってヘルプに革命を打った。  
→でも富豪は強かった。  
→次からは革命を控える。

周りもフォローのしようがありません。他者にカードを出させる（攻めさせる）には、他人から見て、わかりやすいプレイを心がけることが大切です。協力プレイを前提としたゲームでは、個人情報漏洩はマイナスにはなりません。むしろ明確に自分の意図を伝えることによって、使える手札が二倍にも三倍にもなり、それにともなって戦術の幅も飛躍的に広がります。

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者 = きんぎん氏



2 - 1 記憶力


プレイヤー：ラビットさん


席順：以下の通り





手札：以下の通り


□  
(3 5 5 7 8 9 9 Q Q A 2 j k)


 うわー、ラビットさん、ほら見てみて、ついにわたしレベルアップしました、2 - 1ですよ。スーパーマリオだと第二ステージですよ♪

 あー、はいはい、それはすごいですね。

 う、いつになくけだるそうで、これから先を思いやられるかのような、やる気のない返事です。てか「はい」は一回だけでいいです。

 スッパパン!!! (ハリセン)

 いった〜い、と、突然なにをするんですか。

 たしかに、あんたのデタラメかつテキトーなカードの切り方は目にあまるから、そろそろ本腰を入れないといけないんだけど、あんた、悪いけど記憶力皆無でしょ。

「はい、自慢じゃないけどわたし、夕飯に何を食べたかとか、人の名前とかまったく思い出せませんね。



いや、それ、わたしも同じだからいいけど。



え？



んー、そうね、一回書いてみましょうか。



書くって何をですか？



紙よ、紙。紙にどんなカードが出たか書くのよ。そうすれば、いくらチンパンジー並みの記憶力のアンタでも、なんのカードが出たかわかるでしょ。



ええええええええええええええええええええええ、そ、そそそそそ、そんなことしても大丈夫なんですか??



ま、ルールに「紙に書いたらダメ」とは表記されてないし、べつにいいんじゃない？



コ、コロンプスの卵というか、ズバリ盲点でした。



とりあえずカードを記憶している世界がどんなものか疑似体験して、もしそれが必要だと身体で実感できたら、少しは記憶できるようになるかもしれないでしょ。



おおおおお。



ただし、わたしのツレがいる身内とやるときだけよ。



あ、はい。



紙に書くと遅くなるだろうしね。円滑な速度で進めることも楽しくゲームするためには大切なことよ。



う、ラビットさん早いしな、わたしちょっと遅いかも><



まあ、記憶もスピードもなれよ。たとえば今、わたし三枚目の2にj k切ったけど、アンタならテキトーにj k切ってるでしょ、これ。

席順：以下の通り


→ 貧民 → 大富豪 → 大貧民 ↓  
↑ 富豪 ↑ (←ラビットさん)


手札：以下の通り


※1


(3 7 8 9 10 10 Q Q Q A 2 2 j k)


※1・j kを切ってこの形、ここからスリーカード、ペア攻めが可能。


 はい、それはもう動物的な勘で。

 そういうのも個性だし悪くないんだけど、計算で動くタイプにはどうしても直感や閃きでカードを切るタイプはトータルの試合、つまりアベレージで差がついちゃうのよ。簡単に言えば同じ閃きタイプの相手にはそこそこいけるけど、計算タイプには弱いよね、あんたは。


 ほううう、自覚あります。なんていうか、あの人たちがいいっと待つんですよ。こっちがハッキリで必死こいてるのに、カード全然出してくれないんです。


 それはハッキリが見え見えだからよ。

 いやあ、てれますね (///)


 褒めてない褒めてない。

 うう。

 カードの出し方にも強弱つけないと、揺さぶりをかけられないし、強いカードばかり切っただけじゃノッてくれないのよ。

 というか、いつの間にかラビットさん、大富豪になってますね。

 あんと話しているうちにね。

 うわ、いやらしい切り方、さんざんペアが弱いと見せかけてからのペア攻め。しかも、だん

だんペアを下げて行って上のペアで待ってるかと思いきや、手札はバラバラ（相手から見たら、これ揃ってる手札に見えるんだろうな）



ここで、おもむろに2を出す。

□

(2)



おおおお、富豪さん、めっさ悩んでる。



もうこっちの手札は残り四枚だからね、ここは思案のしどころでしょ。てか、この手札じゃ勝てないから情報収集ね。



え？



この富豪は土壇場に追いつめられて、どういう行動をとるか、j kやカードを出すタイプか、カードを切るまでに何秒かかるのか、わたしならここはノンストップで切れるから、相手にはまだこの読みとセオリーの認識はない、とか。ううん、この富豪、戦歴は一万試合未満ね。キャラの名前も中学生がつけたっぽい感じだし。



え、そこ、名前って関係あるんですか？



ジョーダンよ。



ほ、ほんとかな……？



ナイショ。



そいえば、ラビットさん、キャラの顔でどのくらいの腕前か、なんとなくわかるって言っていましたよね？



それ、オフレコ。



もう言っちゃいましたよ。

## 捕捉

「大富豪」はカードを記憶していると、かなり有利になるゲームです。たとえば三枚目の2に

j kを切ったとしても、QQ→2 2の流れを止めるには、(しぼり以外では) 2 j kで押さえるしかありません。

□→□

(QQ→2 j k)

相手に不本意な形でj kを使わせれば、それだけ有利に働きます。例を挙げるなら101010のスリーカードでj kを誘い、2のピンでフィニッシュを決める。

□→□→全員パス→ピン→□

(101010→QQ j k→全員パス→ピン→2)

勝負所は101010のスリーカードで、もしここで(QQ j kで) j kを使わずパスしていたら、2のピンが出たときにj kが切れた、という具合です。

□→□

(2→j k)

大富豪と富豪の駆け引きは、いわばj kの削り合いのようなもので、後に紹介する「止める技術」が必要になってきます。

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

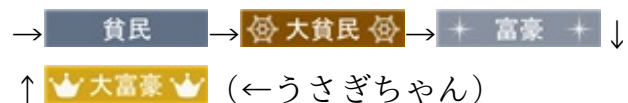
(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者=きんぎん氏

2 - 2 しぼり


プレイヤー：うさぎちゃん


席順：以下の通り



手札：以下の通り

□  
(3 4 4)

 や、やった、つ、ついにできました！ 革命中、3のカードでj k誘って4 4待ち。んで、今、3と同じマークの4ピンでしばったから、もう確実に上がれますよ。


 まだj k残ってるけどね。


□→□  
(4 → j k)


 ……あ。


 詰めが甘い。


 くう><

 でも、うさこにしたら惜しかったわね。j k 二枚の相手はかなり健闘したほうよ。

 え、やっぱりそうですか♪


 ま、紙に書いてればそのくらいできて当然だけどね。あんた、ある程度感触つかんだら、いい加減にそれ卒業しなさいよ。


 うう、クセになりそう。


 しばりを利用したテクはいろいろあるけど、今うさこがやったのは、ちょい昔に流行った、しばりのピン待ちにも対応したペア待ちね。


□

(しばり対応の4 4のペア待ち)


 え、昔に流行った？


 廃れたのよ、この待ち。通用しなくなったから。


 なんでですか？

 革命中に3のピンが出て、残り二枚。もし3 3 持てれば、3 3 → ○で上がれるから、ペア待ちか8切り待ちって読めるでしょ (バラバラの手札から3出した可能性もあるけど)

 うーん。

 8切りで上がるのは厳しいし、かといってペア待ちなのもばれてる。ばれてしまえば、難しいけど対処法はいくらでもあるからね。

 うう、すごいですね。

 それまでに出た3と、大富豪の出した3のマーク覚えてて、それ避けながら延々とピンを切り続ける。あとは根比べね。4 4 崩して、4のピン待ちになったら、今度はペア攻め。Jバック

のある環境だと、革命中に延々とJで回されるから、さらに厳しくなる。



ううん、聞いてるだけで目が回りそう。



それでもj kのない状態での、4 4待ちは強いけどね。わかってても対処するカードがなければ、避けようがないし。だから読みや勘の鋭い相手は、j k使わされると不利になるとわかっているから、4 4待ちに入る前につぶしにくるんだけど。



うう、せっかく覚えたのに、ぜんぜん使えない骨董品の火縄銃だったとは.....。



いや、そこまで使えないって言ってないし。



じゃ、使えるんですか？



あんたね、少しは自分で考えなさいよ。



だって火縄銃だし（ボソ）



とりあえず殴っていい、グーで？



ダメです。



スッパパン！！（ハリセン）



はい、けっきょく叩かれました（泣）



グーじゃないだけ、ありがたく思え。



うう、昔は流行ったって言ってましたけど、それってラビットさんが、ブラウンのルールをメインでやってたときの頃ですか？



そうだよ。



わたし、ブラウンぶっちゃけほとんどやったことないんですが、どんな感じなんです？



んー、大富豪を落とすって意味ではレッドよりシビアね。単純にJバックがないぶん、大富豪を落とすアプローチが一つ少ないし。Jバックがあれば疑似革命が起きて、上と下のカードが使えるじゃない？



3のカードが使えるってこと、ですよ？



そ。Jバックあれば富豪が主導権を握るチャンスも多くなる。革命なしではどうしても勝て



ない、そんなときJバックがくれば、うさこでも革命してワンチャンスを作ることできるでしょ？



た、たぶん…… (ちょっと自信ないけど)



けど、ブラウンにはJバックはない。手札には3はあれど、主導権を握るための2のカードもなければ、8のカードもない。あるのは階段崩れのKとA。ブラウンはそれでもなんとかワンチャンスをつかむために、革命に行かないといけないの。その方法が「しばり」ね。



え、しばり？ あの古めかしい(4 4待ちの)火縄銃ですか？



スッパパン!!! (ハリセン)



いった〜い。



火縄銃、火縄銃って、さっきからやかましいわね。



だって……はじめてまともに覚えた、それっぽいテクだったもん。



あんたね、一つ覚えただけで全部フォローできたら苦労はしないわよ。古いテクも新しいテクも使いよう、ざっとしばりのテク教えるけど。

・ 階段崩れのKAしばり

Kでしばって2を出させる、後にAを使うための伏線。

□→□

(しばりK→2)

同じマークの2がすでに出てるので、Aをしばりで使えば、j k以外に割り込まれることがなくターンを奪える。

□→□

(9→しばりA)

あと、単純に2を消費させてAAAやA j kなどを通す、ごり押しもステキ。余談だけど、ペ

アにもスリーカードにも階段にも対応した、KK2jk待ちがふつくしすぎる！（byラビットさん）

・スリーカード崩してのペアしばり

KKKなどのスリーカードを崩して、強引にしばる。

□→□崩して→□

（99→KKK崩して→しばりKK）

ときにはしばれるペアが出てくるまで、延々とパスする忍耐力も必要。あまりにペアをパスするので、ペアを嫌ってるように見られるのも楽しみポイントの一つ。ペアが尽きた頃に、こそつと99あたりのペアを通してフィニッシュ、周りを唾然とさせるのも乙（byラビットさん）

ラビットさんのしばりは性格を現してるみたいで.....スツパン!!!（ハリセン）><（うさぎちゃん談）

・革命中の344

うさこがようやくマスターした、しばりテク。AA2でも同じことできるが、jkが消費されたあとの革命中のほうがやりやすい。

□→□～□

（2→jk～しばり対応のAAのペア待ち）

2を出してjk削り、仮にjk切られなかったとしてもペア攻め、スリーカード、階段、JJ出しからの33待ち、十重二十重にプレッシャーをかけていくのがjk削りのコツ。あえてjk切られにくいポイントで2を出して引っかけするのも.....あ、これはしばり関係ないか（byラビットさん）

・マーク揃え その1

意識的にマークを揃えて、3などをとなりにしばらせる。

□→□→□

(例、3→しばりK→2など)

連係プレイの基本だが、大富豪にターンをとらせないように大富豪とカードを交互に出し合  
って、餅つきのようにバラのカードを処理されてしまうことも。そもそも大富豪が9あたりで  
しばって、誰も出さなかったら、同じマークの上のカードをガメてる可能性が高いんだから、そ  
こは読みで引きなさいよ！(byラビットさん) 無茶言わないで><(byうさぎちゃん)

・マーク揃え その2

仮に大富豪にA出されても2でターンをとりかえせるから、あえて富豪の後ろで(○→富豪  
)カードをしばって、2のカードのありかを伝える。

□持つてるから□→□

(例、2持つてるから→Q→しばりK)

このテクを使って富豪にAA(ブラウンならJJ)とか崩させてターンを取らせ、そこからの  
革命がしぶい！(byラビットさん)

・マーク不揃え

大富豪のカードはしばらない、というセオリーの逆をついた「マークがえ」のカウンター  
スキル。主な使いどころは2のカードがいっぱいあるとき。2のカードをピンで処理していき、最  
最終的に決め手となるカードのマークをあえて揃えない。

□

(例、ダイヤのQ、クローバーの2)

大富豪以外の視点から見れば、大富豪はカードを揃えるチャンスと余裕があった、当然揃えて  
るはず、その思い込みが甘い罠！ちなみにこのテクはマークを意識する相手にしか通じず、気  
づいてもらえないと、ちょっと悲しい(byラビットさん)

・マークがえ

大富豪の出したカードのマークをかえる。

□→□

(例、ダイヤの9→クローバーの10など)

あたりまえだが、大富豪が対応できないマークにかえること。自分がクローバーの2を持って、クローバーにかえると幸せが訪れるかも (byラビットさん)



ペアを二枚くらい抱えて、しばれるマークがでるまでひたすらがまんする、ってのもあるけど、「スリーカード崩してのペアしばり」と説明がかぶるから、詳細はいいよね？



うう、頭が、頭が爆発しそうです><



何言ってるのよ、これからが本番でしょ？



お、おうちに帰りたいです。

## 捕捉

しばりは大富豪を落とすための重要なパーツであり、Jバックのないブラウンにおいては必須のテクともいえます。その用途はいろいろありますが、たとえば大富豪がKでしばって全員がパス、そこから大富豪のカードを推測するなど情報収集の面でも活躍します。

□→□

(例、9→しばりK、クローバーのAと2を持ってると推測)

また、普段から徹底した立ち回りを意識していれば、富豪に対して8以上のカードを切ることによって、しばりと「攻めの合図」を複合した関係プレイも可能です。

□

(例、ダイヤの2持ってダイヤの9を出す)

このように実戦では様々な技巧が複雑にからみ合い、それにもなって応用の幅も広がっていきます。既存のアイデアとアイデアが結びついて、今までにない新しい発想が生まれる理屈と同じです。

### しばるタイミングと場所

・○→大富豪

基本的に8以下のカードが回ってきたら、すべてしばるくらいのつもりでも大丈夫です。中盤から終盤にかけての勝負所においては、QQQを崩してでも、また8以上のカードでもしばるタイミングが存在します。

たとえば富豪がAを出してしばり、そのとき全員がパス。再びAと同じマークのカードが出たら、富豪は同マークの2を持っていると推測できるので、カードを崩してでもしばる、という具合です。

### しばってはいけないポイント

大富豪のカードは基本的にしばってはいけません。大富豪の多くは、マークを揃えてるからです。富豪の援護のつもりで(○→富豪)Aのカードでしばる方もいますが、タイミング次第では大富豪にアシストしているのとかわりません。2のカードで押さえて革命して勝ち、というタイミングでAしばりなど最悪のシナリオです。

直感や自分なりの読みでしばるのもいいですが、富豪に対してしばるなら、「攻めの合図」も兼ねているなど一工夫あるのが望ましいです。その他にも、富豪が対応しきれないマークはしばってはいけません。たとえば富豪がハートのしばりにカードが出せてなかったら、対応できるクローバーにかえる(マークがえ)

□→□

(例、ハートの9→クローバーの10など)

富豪が一枚目や二枚目の2のカードでj kを切った場合、残りの2のカードを持っていることが多く、大富豪のつぶした2のカードのマークは当然富豪の手札の2のマークと違うのでしばらない(マークがえ)

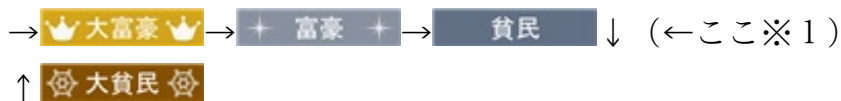
あからさまに8切り待ちの大富豪に対しては、カードを受け取りやすくするためにしぼらない

。

□→□

(例、ハートの6→クローバーの10など)

大富豪に2のカードを出させたいので、あえてAでしぼらない。高めのカードを出して、大富豪に直接しぼらせない。当然ですが、富豪が他者に対してアシストしようとしているのをしぼりで邪魔してはいけません。



※1・富豪が大貧民に対して8以下のカードを送るが、しぼりも含め、貧民が8以上のカードを被せる。

ときには何もしないこと、スルースキルは連係プレイにおいて最高峰のテクの一つです。

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

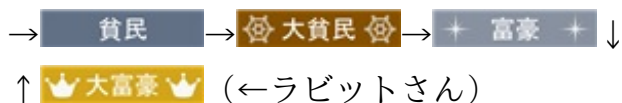
(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者=きんぎん氏

2 - 3 ハツタリ (詐術)


プレイヤー：ラビットさん


席順：以下の通り





手札：以下の通り


□  
(3 4 4 5 9 9 J J K K A A 2 j k)


 うおおおおお！

 何よ、突然うるさいわね、先祖帰り？


 いやあ、最近なんとなく、ラビットさんのやってることがわかるようになってきたというか。いや、しっかりとはわかんないんですけどね、こうなんていうか焼きそばの玉を崩さずに作ってみたい心境を上手く話せないもどかしさといえますか——


 スッパパン！！！（ハリセン）


 いった〜い><

 落ち着け、何言いたいのかさっぱりわからないわよ。


 うう、今ので忘れちゃいました。

 あんた、ほんと、ときどき意味不明なこと――


 あ、思い出しました。それです。


 スッパパン！！！（ハリセン）


 ちょ、また忘れちゃうじゃないですか。

 無視して、人のセリフ遮るな。てか、叩いたら記憶が飛び出るって、あんたの頭はところてんか。

□ところ……おお、上手いこと言いますね。


 あんた、死ぬほどマイペースだね。


 いやあ、それほどでも。


 感心するわ、尊敬はしないけど。

 うう。

 で、何言いたかったのよ？


 意味不明です。

 うさこには負けるよ。

 いえ、そうじゃなく、カードの切り方ですよ。ラビットさん、意味不明な切り方するじゃないですか。たとえばさっきのAAのペア出し、99から捨てれましたよね？

 ん、ああ、なんだ「ペア誘い」のことか。

 ペア誘い？

 「大富豪」ってゲームは、たんに効率的にカードを切るばかりじゃ手札が読まれちゃうのよ。つまり心理戦ね。相手に対して、どういう見え方をするのかも大切で、たとえばさっき44のペアに、わたしAA出したでしょ。



(4 4 → AA)



そう、それでヘンに思って。だって、わたしなら9 9かJ J出してるし。



相手も当然そう思うでしょ。



え？



相手から見たら4 4 → AAじゃない。4 4からAAの間の、中間のペアは持ってないように見えるでしょ？ つまり大富豪はペアに弱い「ペア攻めで落とせる」、そう思ってペアで攻めてくる。



おおお、すごい、本当に貧民が富豪のカード押さえて6 6出してきた。



でもここはパス。

□ → パス

(6 6 → パス)



え？



貧民が富豪のカードを押さえて、ペア出してきたということは貧民の手札はペアだらけってことでしょ。



そ、そうなんですか？



貧民が富豪からターンを奪ったときにAを一枚、富豪のKにわたしが2を一枚。j kでも使わない限り、貧民はQQ以上のペアは作れない。わたしの持つKKで押さえられる。そして、このペアのパスで決定的。もう大富豪（わたし）はペアに弱いて確信されてるわね。貧民のペアの出し方に迷わないもの。



うわあ、すり込まれちゃってるう。



ハツタリのおもしろいところはそこよ。



ホワイ？



ペアに弱いと思ってペア攻めしたら、なぜかペアが本命だったでしょ？ 通常のセオリーでは読めないとなると、次の試合から警戒する。それを逆手にとれば、今度は普通にペアが弱いときでも勝手に警戒するようになるの。



うう、何がなんだかさっぱりわからない。



あんたは問題ないわよ。



え？



4 4 → A A でペアが弱いつて読めないから、ペア攻めできないでしょ？



あ、うん。



セオリー知らない相手に、セオリー外しても意味ないからね。

□今、わたし、確実にバカにされてますよね？



いや、そうでもないけど。うさこの攻めは読みづらいからアシストしにくいけど、それって大富豪から見ても難解だし。あんた、難しく考えるの苦手だから、そっち方面でいいんじゃない？



ええ、わたし、ラビットさんみたいに悪女になりた——



スッパパン！！！（ハリセン）



くう。



悪女言うな。



口は災いの元なのです。



そうだね。



それはそうと、相手をたぶらかして骨抜きにしちゃうような騙しのテクの数々、そろそろ教えてくださいよ。わたしのためにも読者のためにも。



あんた、ほんとマイペースだね。

・スリーカード

かなりベターなハッターリパーツ。出すタイミングによって j k 削りにも使える。一度スリーカ

ードを通して様子を見て、後に4 4 j kなどを通す。

□→様子見→後に→□

(7 7 7 →様子見→後に→4 4 j k)

スリーカードでj kを釣って、2のピンでしめるのは王道的な流れ。普段どれだけ有効にスリーカードを使えてるかが、スリーカードの恐怖をすり込む鍵。序盤でスリーカードを通して、もう一枚スリーカードを隠し持つのは様式美ね (byラビットさん)

### ・階段 その1

単純にして強烈。なぜか階段は(ここ→) 3 4 5 (←ここ) 頭と最後の数字が重なると被せられない仕組みになって(詳しくは第一章\_ルールを参照)、ピンやペアは3、4、5と重ねて出していけるが、階段はバグ返し(A 2 j k)を除外すれば、どうがんばっても、3 4 5、6 7 8、9 10 J、Q K Aと都合四回しかカードが出せない。

なんの特殊ルールもないホワイトにおいては、階段はもはや兵器。低めの階段でも割り込まれにくく、それゆえ切り札としても機能する。

□

(例、7 8 j k)

ハッターはどれだけ相手をビビらせれるかが鍵で、階段→2のピン切り、階段→スリーカード、階段→階段、階段→革命、とか心臓に悪いわね (byラビットさん) む、胸が痛いです>< (byうさぎちゃん)

### ・階段 その2

対抗手段としては、しぼりを利用した推測。たとえばQのカードでしぼられて誰も出さなかったら、大富豪がK A 2のカードを独占してるなど。

□

(しぼりQ→全員パス)

自分が階段の革命を持ってるなら、バグ返し（KA2jk、詳しくは第一章\_ルールを参照）対策として、キーとなるKA2の組み合わせがどのくらい出たか確認すること。階段待ちは不自然なパスが多いので（例、ピン→パス、ペア→パス、スリーカード→パスなど）、何回も振り込んでトラウマを作らないように！（byラビットさん） ひええええ（byうさぎちゃん）

- ・カードの水増し

888や階段、スリーカードで手札を水増しして、勝負所をわからなくする。極端なこと言えば、

□  
(3334567888Q2)

こんな手札から2切られても、残り十一枚だから勝負所の2だと察しにくい。888など手札の中で腐らせてるだけでも、外から見ればプラス三枚なので迷彩効果としては十分に効果的。主力のカードさっさと使って、KKあたりのペアで待っていると、初戦だと上がりやすいかも（byうさぎちゃん）

- ・速攻

とにかく減らす。主力のカードを惜しみなく使って、とにかくカードを減らす。もうカードを減らすだけのゲームだと割り切って、ひたすらカードを捨てていく。必死こいて、残り二枚くらいになればもうこっちのもの。たとえ上がり放棄に近い34だったとしても、

□  
(残り二枚)

相手からすれば残り二枚は、ただただ不気味……。ピンかペアか、速攻のメリットは相手の選択肢をしぼり込んでいくこと。その試合負けたとしても、次戦に繋がる（byラビットさん）

## ・パス その1

単純にして王道。カードが強くてもパス、弱くてもパス、その不規則なパスが幻惑を誘う。毎回同じリズムでカードを出していると、手札を読まれるので、主に手札を読ませたくない大富豪がよく使うテク。上記の「速攻」も同じく大富豪が使うテクで、敵を知り己を知れば百戦危うからず (byラビットさん)

## ・パス その2

欲しいカードをパスする。たとえばペアが欲しいなら、ペアをパス、ピンが欲しいなら、ピンをパス。するとあら不思議、なぜかカードを崩してまで欲しいカードを出してくれる。パスではないけど、あえて高めのペアから出す、88切りからピンにチェンジするなど、徹底的に嫌てるように見せるのがコツ。これも大富豪の嫌がるカードを出し続けるセオリーを利用した、大富豪が使うテクね (byラビットさん)

## ・Jバック

Jバックであえて3を出さず、革命を誘う。逆に大富豪にカード交換でJのカードを送られると、3持ってそうな気配をかもし出される。それによりJが切りにくくなり、守りと攻めに特化した壁役の牽制にも使われる。



(例、大貧民→大富豪)

実戦では送られてきたJが重なって、J JやJ J Jとかになることもよくあるけどね (byラビットさん)

## ・カードの強弱

カードの出し方に強弱をつけ、相手を揺さぶる。たとえば9やKなどのピンも出せるが、それらをすっ飛ばしてAを出すことによって2を誘う。

□→□

(4→A)

4からAを出せば、その中間の浮いてるピンはないと思わせることもできるわよ (byラビットさん)

・リスクずらし

リスクを先にずらすのではなく、逆にしぼり込む。ここさえ乗り越えられたら後の展開が、かなり楽になる、でも押しえられるとやばい。こういう選択肢のときに使う騙しのテクだが、相手によって判断する。

□

(例、手出しの2出しなど)

たとえば革命して勝つには丁寧な立ち回りが要求されるが、長期戦にもつれ込むと、メンツ的に不利となる。簡単に言えば、うさこがいるときに多用するテクね (byラビットさん) ひどいです>< (byうさぎちゃん)



こんな感じでハッターは大富豪が多用してくるテクなんだけど、そのへんの理由はさすがにわかるよね？



え、ちょ、急に言われても。



あんた、ほんと不意打ちに弱いわね。



えっと、て、手札を読まれないようにするため.....かな？



まあそれであってるけど、なんでおどおどしてるのよ。



うう、だって (自信ないんだもの)



富豪側は連係プレイをするためにわかりやすいプレイを心がけるけど、反対に大富豪は一人で全部やらないといけないから (他者の利用はできるけど)、どうしてもハッターに頼る機会も多くなるの。劣勢をひっくり返すハッターは大富豪の切り札で、要はその切り札を使わせなければいいのよ。



え、どうやって？



カードを止めればいい。どうせ竹光なんだから、放っておけばいいのよ。



えええええええ。



荒らしの対処法と同じよ、無視が一番効果的。

## 捕捉

ハツタリを成功させるポイントは中身にあります。たとえばイソップ寓話のオオカミ少年ですが、慢性的に「狼が来たぞ」と言ったところで誰も信用してくれません。中身のあるプレイがあって、はじめて警戒されます。

次に紹介する「上がる手札作り」は、いわばハツタリに頼らない正統派の技巧で、相手を効果的に騙す演出に不可欠なスキルです。あまりに堅実すぎても押さえるポイントが読まれ、あまりに無秩序でも、いたずらに混乱を招く。ハツタリと正攻法の技術は車の両輪のようなもので、どちらが欠けてもまっすぐに上手く進みません。

## 対抗策

ハツタリの妙は詐術によって、相手を疑心暗鬼にさせることです。生物には生存本能が備わっており、自然界で騙されるということは死に直結します。ゲームにおいても基本的な理念は同じで、騙されると警戒するのは本能の根ざすところであり、不可避の防衛本能ともいえます。本来、身を守るべく警戒心が足を引っ張り、危機に面して身体が硬直、かえって身を危険にさらすことは自然界でもよく見かけます（たとえばヘッドライトに向かってくるネコ）。ハツタリはこの警戒心（身体の硬直、迷い）を利用したもので、プレッシャーにたえかねて、カードを強打、そういう経験は誰にも一度はあるのではないのでしょうか？

ヘッドライトに向かってくるネコのようにならないためには、いかにして本能を抑えるかが重要になってきます。幸い人間にはネコにはない高い学習能力が備わっており、経験と知識から、あるいは天才的な閃きから解決方法を導き出して困難に打ち克つことができます。それこそがハツタリの対抗手段となる「止める技術」です。迷ったらカードを止めるような消極的な技術ではなく、経験則や知識、勘などを総動員して相手のハツタリを見抜いたうえでカードを止める技術です。もちろん、勝負所をずらしてくる、「カードの水増し」のようなハツタリ（詐術）に対しては、逆にカードを出してくセンスがないといけません。

## アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

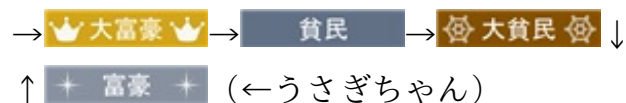
原作者=きんぎん氏



2 - 4 上がれる手札作り（正攻法）


プレイヤー：うさぎちゃん

席順：以下の通り





手札：以下の通り


□  
(3 5 6 8 8 K K A A 2 2)


 ううん、せっかくハツタリの方法いくつか覚えたんですけど、ぜんぜん引っかかってくれませんか。


 んー、そりゃそうだ。だってまだ、半分しか教えてないもの。

 なんですよ！

 ウソをウソと言ったところで、騙される人がいる？

 えええええええええ。

 あんたに致命的に欠けてるところは、上がるための「手札作り」よ。

 なんですか、それ？



あんたのハツタリにはビジョンがないの、ストーリーがないの。



どどどど、どういうことですか？（物語……？）



あんた、その手札どういう展開になれば勝てるのか説明できる？



いやあ、まったく。とにかく削ろうと、必死で。



そこがアウト。



ええ？



あんたがわからないものを、どうして他人がわかるのよ。



そ、そういうものなんですか？



だいたい、さっきから上のカードばかり出してるけど、その下の356のカードはどうやって処理する気でのよ。



特に考えてないですね。



スツパパン！！！（ハリセン）



いった～い><



堂々とおバカな発言するな。



じゃ、じゃどうすればいいんですか。



たとえばさっき大富豪のしばった10のダイヤに貧民が、Qのダイヤ出したでしょ。

□→□

（しばり10→Q）



そ、そうだったっけ？



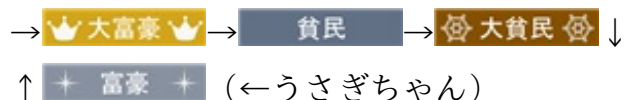
スツパパン！！！（ハリセン）



うう、安物の電化製品を直すみたいに叩かれました。



大富豪視点で見れば貧民は――



大富豪→貧民



大富豪のすぐとなりでコントロールもしやすい。つまり貧民なら大富豪からパスも誘えるけど、あんた（富豪）がA出したら、大富豪も警戒せざるを得なくなるでしょ。



わ、わたしA出しましたっけ？



ご丁寧にAA崩してまで出してたよ。



あうう。



あんたがもしA出さなかったら、貧民からJが出たかもしれない。この「かもしれない」つてのがストーリーなのよ。富豪は壁役も兼ねてて下のカードを処理しにくいのは、周りもわかってるはず。



そ、そうですよね。



なら貧民にターンをとらせてJを出させれば（3のカードを使って）下のカードは残り二枚。ここまできたら、アシスト待ちまで行けるから、上のカードでプレッシャーを与えることができる。22でj kダブル削るのもいいし、22から6切って588で待ってもいい。あんたのカードの切り方には、こういったビジョンがズバリないのよ。



うう、探偵さんみたいに指差されました。



壁役は下のカード二枚まで持っていけば、席順的にアシスト待ちができる。ハツタリもいいけど、きっちり上がれる手札を作る技術があるからこそ相手も警戒する。弱い犬ほど、キャンキャン吠えるでしょ？



となりんちの犬はよく吠えますね。



本当に怖い脅しってのは、もっと静かなものよ。



あ、わかります。ラビットさんに、じいって見つめられるより、まだハリセンで叩かれるほうが楽ですもん。



スッパパン!!! (ハリセン)



う、ありがとうございます (泣)



はああ、あんたってつくづくマイペースだよね。



ここからはラビットさんと、わたくしうさこの「上がる手札作り」コーナーだよ～。

### ☆5待ち

べつに5じゃなく6でも7でもいいけど、たとえば3と5のカードを持っているとする。このとき前に大富豪がいると、なぜか5を捨てる人がいるが、ここは3切りからの5待ち。

□→□

(3→5待ち)

アシストを受けられる位置なんだから、きちんと上がる手札を作っておくことも仕事のうちよ (byラビットさん)



ちなみに今のがアシスト待ちの基本ね。



3か5かってなったら、3切れればいいだけだから、これならわたしでもすぐにできそうです。



持ってる3がスペ3だったら、この限りじゃないけどね。そのあたりは要工夫。ま、こんな感じで8以下のカードが二枚以下ならアシスト待ちできるから、ここまで持ってくれば強引に上のカードでプレッシャーをかけれる。



ううん、なるほど。メモしとこっと。



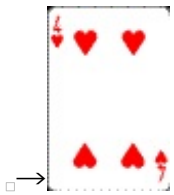
大事なのは下のカードを捨てるタイミングなのよ。上のカードで揺さぶって相手のカードを崩させてから、下のカードを処理するのが理想だけど、ハツタリが通じない相手では効果が薄い。そこでさっき言った、後ろの席の人にJを切らせる方法ね。



ううん、Jバックあればいいですけど、Jバックのないブラウンとかだと、どうするんですか？



基本的には同じ。後ろの席の人に低めのカード出してもらって、それをしばる。ブラウンではレッドほど3が重要じゃないから、こういった援護で3を出してくれる人も多いわよ。



(3→しばり4)



へえ、やっぱりルールが違くとカードの切り方もかわってくるんですね。



どこのルールでもそうだけど、カードを出すにはタイミングってのがあるのよ。わざわざ初手から大富豪に対して8以下から切らなくても、そのうち処理するチャンスも出てくる。ま、うさこはそのチャンスを自らの手でつぶしてたんだけどね。



うう、だって強気のほうが引かかると思ったんだもん。



それもいいけど、毎回それじゃ逆効果よ。放っておけば、そのうち甘いカード出てくるからね。

### 壁役の理想的な攻め方

- 1・下のカードを処理する機会をうかがう
- 2・上のカードでプレッシャーを与える
- 3・大富豪に対して甘いカードを出すのは最後※1

※1・速攻を仕掛けてくる相手には注意。



たとえば大富豪が上のカード出せてなかったら、JJを切るのは最後。音ゲーと同じでタイミングが重要よ。



うう、わたしタイミングとるのが苦手かも><



ふふ、ちなみに大富豪越しの攻めはもっとたいへんよ。



ふええええええ。

### ☆ペア待ち

富豪（上がり役）へのアシストはすべて大富豪の検問（大富豪→富豪）を通るから、自力で上がるのがムズイ。たとえ残り一枚をAで待ってたとしても、しぼり、8切り、Aと2からのペアチェンジと数々の妨害が待ち受ける。そこで利用したいのがペア待ち。

□

（例、99のペア待ちなど）

大富豪のペアを必然的に封じる形となり、強い手札を使い切っても、ペア待ちなら容易に作れることも多い（byラビットさん）



とか言ってみたけど、実戦じゃ、なかなかこう上手くはいかないわね。はっきり言って、自ら上がることは困難よ。



ひええ、じゃ、大富豪越しの場合は、どど、どうすればいいんですか？



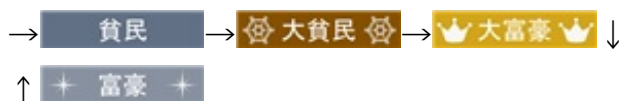
ん、簡単よ。自分が上がり役にならなければいい。



え、どういうこと？



大富豪越しって、実は席順的にアシストが一番楽なのよ。



## 富豪→貧民→大貧民



ほら、富豪の前に貧民、大貧民っているでしょ。この二人も富豪は大富豪越しで辛いつてわかってるから、かわりに攻めようとする。その様子を見て、革命するなり、ヘルプ入れるなりすればオッケー。壁役が用兵しながらも自ら切り込んでいく武将なら、こっちは一歩身を引いた軍師ね。



うわあ、頭使いそう。



大富豪越しの富豪は戦局を見極める慧眼と、戦場を見渡す広い視野、そして相手を攻めさせる高い用兵術が必要ね。こういったのは技術的なことだけど、一番重要なのはモチベーションよ。



モチベーション？



この人なら、いくらでも私財を投じてもいい。仮にすべてを投資して破産しても、後悔はない。むしろ、やれるだけのことはやった。全力を出し切った。いっしょにプレイしてる相手はコンピューターじゃないのよ、人を心から動かすのは単純に技術だけじゃないってことね。



ううん、なんか深いですね。



んー、これってたんに好みの問題かもしれないけど、わたしは玉砕精神にあふれた相手だと、いっしょにプレイしてモチベーション上がるのよ。相手もわかんないけど、きっとそうかもしれないってこと。



あれ、なんか一気にセリフが軽くなったような？



世の中いろんな人がいるからね。そのぶん、楽しみ方も違うだろうし、楽しむポイントも違うのよ。



え、なんかあったんですか？



いやね、どの世界もそうだろうけど、世の中いろんな人がいるのよ。

### ・ 8切りの考察

たとえば以下の手札で、なおかつ壁役だった場合、8以下である4のカードが回ってきたら何

を切ればいいのか？（マークは考慮しないものとする）

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□  
( 3 4 4 5 6 7 9 9 J A A 2 2 )

富豪が「大富豪越し」で自分が攻め役だと判断したなら、5切り。8以下のカードが怖いのは8切りからの待ちチェンジだけど、ペアならAAと22があるので押さえることが可能というわけ。壁役の5切りが「攻めの合図」になっているので、浮いた8以下バラの処理にJを回してもらうこともできる。

8切りから即革命されるリスクもあるけど、これ、たんに8切りの考察だから実戦でどうカード切るかは、うさこが考えること (byラビットさん) えええええ！？ (byうさぎちゃん)

・ Jバックの考察

たとえば以下の手札で、壁役の富豪が2出して j k を切られた場合、大富豪から5のカードが回ってきたら何を切ればいいのか？

席順：以下の通り





手札：以下の通り

□

(3 4 9 9 9 J J J Q K)

それまでの流れで富豪が上にカードを出せてなかったら、J J J崩して、J切り。手札の3と4が利用できれば都合三回、富豪にJバックの流れを送れる。Jのカードは切符と同じ、切った回数だけ疑似革命が起きる魔法のカード。ただし、一度に二枚、三枚切っても、一回しかJバックが発生しないので注意が必要よ (byラビットさん)

・ Jの捨て方

たとえば以下の手札で、自分が壁役だった場合、何を切ればいいのか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□

(5 5 6 J J A A)

大富豪が下の流れ欲しそうだったなら、5 5切り。理想は(5 5 → ○○)をA Aで止めてからJ Jを切り、6のアシスト待ち。J J出して5 5を出そうとするのは甘え、危険なカードは最後に切ること (byラビットさん)

・ 捨てJ

たとえば以下の手札で、自分が大富豪越しだった場合、何を切ればいいか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□  
(1010 J Q A 2 2)

大富豪の革命を返したあとなら、Q出し。大富豪に一回、Qでパスを誘ってからJを切れば、処分したかった「捨てJ」だと、よりいっそう伝わる。他人から見てどう映るかが、ここでの考察のポイント。切られたJの処理も、3と8がなく下手にしばるくらいなら、あえてパスして、となりに託す慎重さも必要よ (byラビットさん)

・大富豪のJ処理

たとえば以下の手札で、自分が大富豪だった場合、何から切るか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□

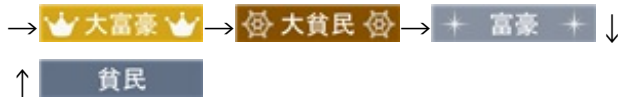
(6 6 8 8 J Q Q Q Q 2 2)

富豪の革命を予測して j k を切ったあとなら、2 切り。富豪に j k 使わせて、革命を封印してから J を切る。たとえ大富豪の出した J でも、それが唯一の反撃ポイントなるケースも多く、ときには相手の力を利用するくらいの大胆さも必要よ (by ラビットさん) ううん、わたしびびって流れ止めちゃうかも (by うさぎちゃん)

### ・スペ3の考察 その1

たとえば以下の手札で、カード交換で富豪に j k を渡してて、なおかつアシストを受けられる席順の場合、何から切るか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□

(3 5 8 8 8)

3 のカードがスペ3なら、3 切り。8 8 8 もあって、大富豪に 8 切りから待ちをかえられにくく、スペ3 出しで (j k を持つ富豪に) アシスト待ち状態だと気づかせられる。スペ3 は軽々にさらせるものじゃないけど、これは例外的なケースね (by ラビットさん) わたし、アシスト待ちって気づけるかな > < (by うさぎちゃん)

### ・スペ3の考察 その2

たとえば以下の手札で、壁役の貧民が j k を切った場合、どうすればいいか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□  
(3 5 7 8 8 Q Q K)

自分が富豪に対してアシストできる位置なら、スペ3切り。壁役の貧民へのフォローになり、富豪にスペ3も見せられる連係プレイの一つよ (byラビットさん) うわ、なんかかっこいい！ (byうさぎちゃん)

・スペ3に関する小ネタ

カード交換に関する小ネタは後述 (カード交換 その2)。大富豪にスペ3がないことを祈って、j kを切るのは富豪にだけ許された禁断の技。あ、わたしこれよく使います (byうさぎちゃん) ばかたれ、j kに頼りすぎよ (byラビットさん)

・100%割り込まれない切り方

たとえば以下の手札で、ペアが流れてきた場合、何から切るか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□

(3 4 5 5 7 8 AA 2 2 j k j k)

これは100%、22が正解。AAで押さえると、22を被せられる可能性があるので、22を出してからAA j k、あとは(3 4 5 7 j k)革命の流れで確実に勝てる。手札がいいときこそ、油断は禁物よ (byラビットさん) うう、油断しそう>< (byうさぎちゃん)

・危険を冒してまで勝ちに行かない

たとえば以下の手札で、革命中に富豪が5のカードでターンを奪ってきた場合、どうすればいいか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□

(3 3 4 4 6 6 6 7 Q)

富豪に危機管理能力がないと判断したなら、3か4。理由は富豪からJ Jとか出て、それが大富豪の逆転の目に繋がるから。こういうプレイが一つでもあると、絶対に信用されないから、うさこ気をつけなさいよ (byラビットさん) .....しらずにやってるかも>< (byうさぎちゃん)

・KK崩し

自分と大富豪が以下の手札だった場合、何を切ればいいか？

席順：以下の通り



大富豪の手札：以下の通り

□

(7 AA 2 2 j k)

富豪の手札：以下の通り

□

(3 KK 2 j k)

富豪の手札にはスペ3があり一見有利に思えるが、実はかなりキツイ。

KK (富豪) → 2 2 (大富豪) → 全員パス  
→ AA j k (大富豪) → 全員パス → 7 (大富豪)

KK j k (富豪) → AA j k (大富豪) → 全員パス  
→ 2 2 (大富豪) → 全員パス → 7 (大富豪)

ペアもスリーカードもアウト。この手札で勝つには手出しで2を出してj kを釣るか、KK崩

ししかない。それでも詰め将棋になるとほぼ勝てず、大富豪が2→2と出すと相当に厳しいが、

K (富豪) → 2 (大富豪) → 全員パス  
→ AA (大富豪) → 2 j k (富豪) → 全員パス  
→ K (富豪) → 大富豪の手札 (7 2 j k)

この流れまで持っていければ、大富豪の手札を死に札 (後述) に追い込むことができる。ポイントはスペ3と j k を活用するために、KKを崩しているところ。

上記の「KK崩し」は危険カードを察知して、手札を崩すテクの一つ。ちなみに大富豪が富豪のKK崩しに対して、Aを切ってきたら問題なく勝てるから (しぼりは考えないものとする)、練習がてらに考えてみなさい (byラビットさん) ム、ムズカシそう>< (byうさぎちゃん)

・ブロック分け

たとえば以下の手札で、自分の席順は大富豪越しだった場合、何から切るか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□  
(3 3 6 7 8 8 9 AA 2 2)

大富豪が上にカードを出せてなかったら、6切り。革命したところで、大富豪が j k 二枚持っているので、3 3 に j k j k 切られてしまう。ブロック分けという考えなら、

(33) 67889 (AA) (22)

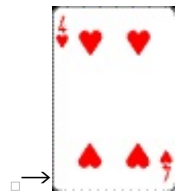
下は一ブロック、上は二ブロック。スペ3があるので、789の階段を捨てるのがヤバそうな気配なら、丁寧に階段(79)を処理して2のピンで決めてもオッケー。革命に捕らわれず、カードを崩せるかがここでの考察ポイント。何気に8がらみの階段は崩しやすいから、覚えておくことね (byラビットさん) メモしてきます (byうさぎちゃん)

・下のカードの処理

下のカードの処理にこまるのは壁役で、一枚目の下のカードは、Jバック、しばり、早めに生で通す、などして処理する。

□→□

(例、Jバック→3など)



(例、3→しばり4など)



(即4切り)

下のカード残り二枚まで持っていけばアシスト待ちが可能なので (例、3捨てて5待ち)、下のカード三つくらいまでを目安にして、立ち回ることね (byラビットさん)

・攻め方

壁役では下のカードを処理する機会をうかがいつつ、上で攻める。もちろん、手札次第で速攻



もあり。大富豪越しは少し身を引きつつも、自ら攻めて大富豪と道連れに沈むか、あるいは誰かに攻めてもらって、そのあと動く。大富豪が対面の席は、んー、説明がめんどくさいから、ちょうどその中間のことをやれると思えばいいわ (byラビットさん) えええ、めんどくさい! ? (byうさぎちゃん)

### ・カード交換 その1

大富豪は大貧民の初手革命を避けるために、なるだけバラバラにカードを渡してくる。しかし、逆に革命が欲しい場合、あえてカードを揃えてきて罣を仕掛けてくることもある。



大富豪→大貧民

大富豪越しの大貧民は大富豪に制御されやすく、大貧民が初手で革命を打ったなら、大富豪の罣を見抜いてうえで、

□  
( 3 4 5 6 9 9 Q A A 2 2 2 j k )

革命を返す肝っ玉も必要よ (byラビットさん) わたし、革命返すの遠慮しちやいそう>  
< (byうさぎちゃん)

### ・カード交換 その2

カード交換で渡すカードがない場合、富豪なら貧民にスペ3を送ることも可能。バグでカード交換が選べないときの、緊急措置にもなる。あまりに富豪の手札がバラバラ&弱すぎて、貧民に j k をプレゼントすると、貧民からも j k が送られてくることも。

□→←□  
( j k →← j k )

これが、かの有名な j k の「ブーメラン」現象よ (by ラビットさん) わたし、j k 渡したことないかも (by うさぎちゃん)

#### ・カード交換 その3

カード交換のマークには優先度があり (スペード<クローバー<ダイヤ<ハート)、たとえば貧民からスペードの2が送られてきたら、スペードの2より優先度の低い2はないので、貧民は2のカードを持ってないということになる。

□

(スペードの2送られてきたので、貧民は2なし)

貧民から送られてきたカードが極端に低い場合 (たとえばJ)、手札が下のカードに寄ってる可能性が高く、カード交換したカードを念頭に置いておけば、革命に行く際の目安にもなるわよ (by ラビットさん)

#### ・カード交換 その4

富豪と貧民とで j k を持つことを、j k の「割れ」と呼ぶが、この状況になる条件は下記の通り。

- 1・カード交換前に富豪の j k は零枚
- 2・貧民から j k をもらう※2

※2・このとき約 1 : 2 (貧民 : 大富豪) の確率で「割れ」が発生してる。この「割れ」の状況を知ってるのは貧民のみ (訂正、詳しくは後述\_2015/04/01)。富豪は自分が j k 零枚で、貧民から j k を送られてきたという判断材料から推測は可能。

以下は、大貧民が大富豪に j k を二枚渡すケース。

- 1・大富豪は j k のありかを知ってる
- 2・富豪も自分が j k 持っていないので、j k のありかを知ってる
- 3・大貧民も二枚 j k 送ってるので、j k のありかを知ってる
- 4・貧民はどこに j k があるのかわからない

つまり貧民が j k のありかを探るには、自分以外の者のカードの切り方を見て判断するしかない。j k がどこにあるか探るのは重要で、

以下は、大貧民が大富豪に j k を一枚渡すケース。

- 1・大富豪は j k のありかを知ってる
- 2・富豪も j k のありかを知ってる
- 3・大貧民は大富豪に少なくとも一枚 j k があることを知ってる
- 4・貧民はどこに j k があるのかわからない

このとき貧民が富豪に j k を渡していたら、

- 1・大富豪は j k のありかを知ってる
- 2・富豪は j k のありかが特定できない(貧民or大富豪)
- 3・大貧民は大富豪に少なくとも一枚 j k があることを知ってる
- 4・貧民は富豪に少なくとも一枚 j k があることを知ってる

ジョーカーに優先順位があることが判明したので訂正します。(2015/04/01)

「ジョーカーにも優先順位があり爆弾<悪魔、絵柄によって区別が付きまます。ジョーカーを持ってない状態で貧民から爆弾の絵柄のジョーカーが送られてきたら、確実に大富豪が悪魔のジョーカーを保有しています。貧民の手札に悪魔のジョーカーがあることはありません。

(2013/10/16\_加筆\_第一章\_ルールより抜粋)」

とまあこんな感じ。j kに限らず、カード交換は相手の手札を推測するのに利用できるツールだから、ちゃんと使えるようにしときなさいよ (byラビットさん) うう、頭が頭が..... (byうさぎちゃん)

・カード交換 その5

Jのカードを送る際には注意が必要。たとえば下図のような席順の場合、貧民は前に大富豪がいるのでJが切りにくい。



貧民→大富豪

渡された、たった一枚のJのために貧民が身動きできず、貧民の手札の中に攻め手があったとしても腐らせることになる。席順的にも富豪は自ら上がりにくく、Jを渡す行為自体、富豪の「攻めの合図」と受け取られてしまう。実際に攻め役になれる手札ならいいけど、大富豪越しで、攻め役を一人減らす覚悟でJを渡すってことは相当に自信ありってことよね？ (byラビットさん)  
お、脅しにしかきこえませんよ (byうさぎちゃん)

・攻め役を増やす その1

たとえば以下の手札で、自分は壁役の大貧民、Kを初手切りして全員がパスをしたら、何から切るか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□

(3 5 6 7 7 9 9 J Q Q K A A 2)

富豪の席順が大富豪越しなら、99切り。富豪がパスしたら、それは攻めれるなら「攻めろ」という合図、ペアを送るのではなく「ペア攻め」ってのがミソ。自分の手札だけではなく、周りの状況を見て、攻め役になるかがポイント。この場合は、富豪のかわりに「先に死んでこい」、そのかわり骨は拾う、って指示だね (byラビットさん) .....ほ、骨? (byうさぎちゃん)

・攻め役を増やす その2

攻め役が二人に増えると、大富豪は二人に警戒しなければならない。当然、そのぶん大富豪の負担も増す。誰かが先に犠牲になる覚悟で攻めれば、それだけ大富豪は苦しむ。連係プレイの真骨頂といえば、バッティングスレスレともいえる玉砕覚悟の波状攻撃。「攻めの合図」も「ハッター (詐術)」も「上がれる手札作り (正攻法)」も、最終的にはここに到達するためのスキルよ (byラビットさん) う、エベレスト並みに険しそう (byうさぎちゃん)

・高めのアシスト その1

たとえば以下の手札で、自分は壁役、富豪から10のカードが回ってきた場合、どうすればいいか?

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□  
(3 4 4 5 5 5 6 7 8 A)

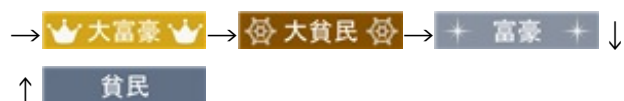
j k は出尽くしてて、富豪が上のカード独占状態なら、A出し。理由は j k がないので、しばらくには対応できないから。要はマークがえ (2 - 3 ハッターを参照) の一種だが、正確に勝負

所を見極められないと逆効果になる。ここぞという最後の大詰めで、全力投球できるかがポイントよ (byラビットさん)

・高めのアシスト その2

たとえば以下の手札で、残り手札3枚の富豪が5 j kを出してきた場合、どうすればいいか？

席順：以下の通り



手札：以下の通り

□

(3 3 7 8 J J Q A A 2)

2 2でフィニッシュの場面なら、AA切り。アシストに安定感のある人はここで身を削るが、AAを出せない人には「高めのアシスト」を永久封印しなければならない。ここでのポイントは相手に合わせて、使うスキルを選択すること。うさこは案外こういうの得意だけどね (byラビットさん) え、これ簡単じゃないんですか？ (byうさぎちゃん)



うう、ようやく終わった。頭、パンクしそうです。最後の高めのアシストのやつ以外は、ぜんぶムズカシかった><



てか、あれ、できる人のほうが少ないよ。



へえ、なんでですかね？ 5 j k使ったら、2 2で待ってるってわかりそうなものですけど



あんたがいうと、すごく簡単そうに聞こえるわね。



いや、だって。ほんと、これのどこがムズカシイんですか？ 逆に気になりますよ。



わたし、これ封印指定のスキルだよ。



え、封印？



実戦じゃ使えないから封印したの。正確に言えば、相手をかなり選ぶテクってこと。あんたより遙かに上手いとか言われてる人でも、平気でパスするからね。



得手、不得手ってあるもんですね。



だから言ったでしょ、技術だけじゃないと。



え？



人の価値観はいろいろあるけど、やっぱり一番大切なのは、いっしょにやってみて楽しいかどうかだね。

## 捕捉

派手なハッタリの技術を支えるのは、こういった地味なスキルです。「上がれる手札作り（正攻法）」は学問のように、あれこれ頭で考えるより先に、実戦でいろいろ試してみるほうがいいかもしれません。そのとき、あれはダメ、これもダメというふうにはではなく、むしろ一度失敗してみる覚悟で、たとえば富豪に対してしぼりまくる＝なぜいけないのか？ と逆説的に考えてみるのも悪くないでしょう。

ただし、仲のいい知り合いなどに協力してもらわないと、いさかいのタネになるかもしれないので、そのあたりは自己責任でお願いします。

## アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

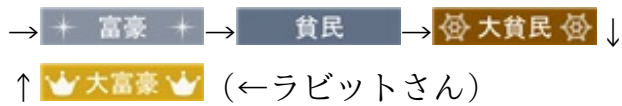
(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者＝きんぎん氏

2 - 5 死に札


プレイヤー：ラビットさん

席順：以下の通り




手札：以下の通り

□  
(3 5 5 8 A A 2)


 あれ、ラビットさん、そこから5 5崩しちゃうんですか？ 相変わらずヘンテコな切り方してますね。

 ヘンテコはあんたの頭のほうだよ。

 え？

 もうこれ、ほぼ勝っているわよ。


 えええ??


 まあ見てなさい。もう2がなくて、残りはAが一枚、5 5とA Aはマーク揃えてあるから、しぼり対策もばっちり。5をパスされたらどうなるかわからないけど、ここで富豪がAを出す。





□→□


(5→A)

 あ、ほんとだ。

 これで富豪のカードは残り二枚、はい、これで詰みね。


 え、なんでですか？

 わたし、j k一枚しか持ってなかったでしょ？

 そうでしたっけ？


 あんた、そのへんの記憶力はほんとかわらないわね。


 うう。

 ま、いいわ。富豪は残り二枚でj k持っているから次に出すのは（反則負けが嫌なら）j kしかないでしょ。


□

(○j k)


 .....あ。

 あえてこちらから2を出すまでもない。

 じ、自滅ですね。

 仮に2を被せたとして、

 え、被せちゃうんですか？

 大富豪がj kを切らず、ここでパスを選択したとしても、わたしは残った5を捨てるだけ。あとは3 8 AAだから、スリーカード、階段以外なら勝てる。ま、富豪j k切るだろうけどね。

□→□

(2→j k)



あら、あっさりと j k が出てきました。



あの富豪、うさこと同じで j k に頼りすぎだしね。まあ出てくると思ったよ。ついでに言えば A 出してくるのも読めたけど。



うう、j k に頼りすぎですか。



自分を除けば、およそ三分の二の確率で大富豪以外の誰かがスペ3を持っているけど、過信しすぎね。j k 使っているうちはいいけど、使われるようになったらお終いよ。



ほうう、まだはじまってすらないのに><



うさこの数ある弱点の中で、致命的な弱点の一つ、あんた、ズバリ j k に頼りすぎよ。えーごで言うと TAYORISUGI。



う、大切なことなので計二回も言われました。



あんた、なんで j k に頼りすぎなんだと思う？

□.....下手だから？



それもあるけど。



やっぱり否定してくれないんですね。



うさこ、「死に札」知らないでしょ？



死に札.....？



つまり読んで字のごとく手札が死んだ状態。さっき富豪の手札、残り三枚になったでしょ。



たしか A 出してたときですよ？



あれがそうよ。



えええええ。



スペ3が見えてない状態でのj k含み残り三枚は「死に札」と言って、ピンなら何を切られても詰むのよ。

□

(○A j k)



えええええええええええええええええ、そ、そんな裏技があったなんて、わたし知りませんでしたよ。てか、聞きましたっけ？ いや、聞いてない聞いてない、わたしこれ聞いてないですよ？ もちろん読者のみなさんも。



落ち着け。

□な、なんで教えてくれな——



スツパパン！！！（ハリセン）



ほううう、でっかいお屋さま見えますう><



落ち着けというのに、ばかたれ。物事には順序ってのがあつてでしょ。



え？



死に札はスルーパスに並ぶ、最高峰のスキルよ。そんなスキルおいそれと身につけてしまつたら、誰も勝てなくなって明日から対戦相手いなくなっちゃうでしょ。



ま、まじですか？



人類のルーツを辿ると、アフリカのイブという女性に辿り着くように「死に札」はあらゆるセオリー、読みのベースとなつてゐる原点なのよ。すなわち原点を識るということは森羅万象、宇宙を理解するのと同義。



それゴッド、いわゆる神状態じゃないですか！



そう、原点に辿り着けばゲームにおいての神になれる。



ずっと、わたしのターン！！！！



そうそう、ずっとうさこのターンよ。



わ、わたし.....カッコいい (ジーン)



そうだね。

は、早く教えてください、そのチートクラスの技を！



みんなにはナイショよ..... (試合もなんだか緊張感ないし、しばらく、うさこでもからかって遊んでよっと)

## 捕捉

上記でも説明がありましたが、スペ3が見えてない状態での j k 含み残り三枚は「死に札」と呼ばれ、ピンなら何を切られても詰みます。

仮に 4 2 j k の死に札で 3 のカードを切られたら、

・ 3 → 4

2 と j k が残ってしまい反則負け。

□×

(2 j k ×)

・ 3 → 2

4 と j k が残ってしまい手詰まり。

□×

(4 j k ×)

・ 3 → j k

4 と 2 が残り、ペア攻めで詰んでしまう。

□△

(4 2 △)

一見、枚数は少なく、理屈は簡単そうに見えますが、これが実際のゲームになってくると少々複雑になってきます。

たとえば以下のような手札だとしても、

□

(4 4 6 6 Q Q Q 2 j k)

ネックとなるのは、

□or□と□

(4 4 or 6 6 と Q Q Q)

このカードの処理の仕方いかんでは、あっさりと(4 4 2 j k)死に札に近い形に追いつめられます。4 4 2 j kのケースでは残り四枚ですが、内容はほとんど死に札と同じで、ピンを切り続けられたら詰みます。

・ 9 → 2

4 4 j kと残り三枚となり、純正の死に札になってしまう。

□×

(4 4 j k ×)

・ 9 → j k

4 4 2が残り、ペア攻めで詰んでしまう。

△  
(4 4 2 △)

また (4 8 2 j k) このような形から 2 に j k を切られても、(4 8 j k) の死に札となります。

×  
(4 8 j k ×)

おおよそのセオリーはこれらの形に集約され、攻める側はいかにして死に札となるように追いつめるか、逃れる側はいかにして死に札にならないように避けるか。

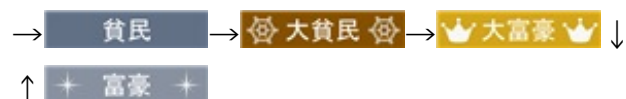
上述した (4 4 6 6 Q Q Q 2 j k) の手札でいえば、4 4 or 6 6 と Q Q Q は死に札を避けるためのパズルと同じです。ピースが少なくなると、全体像が見えてしまい、どんな手札なのか悟られてしまいます。

手札の枚数に余裕があるうちはさほど感じませんが、少なくなればなるほど、死に札の影がくっきりと浮かび上がってきます。プレッシャーにたえかねて (Q Q Q → 6 6) と切れば、あっさり 8 8 切りでピンにチェンジされてしまい、アウト。死に札にほど遠い位置からの手札でも、見えない影響力があります。

### 対処法

大富豪の手札は残り三枚で、富豪はひたすらピン切り。このとき貧民は以下の手札で、富豪のカードの切り方から大富豪の手札が死に札だと読めたら、席順的に自らが上がりにくい富豪にかわって、ピン攻めをします。

席順：以下の通り



大富豪→富豪

手札：以下の通り

□

(5 5 8 9 Q Q A)

早い段階で大富豪から j k が切られて、富豪から 8 以下のピンが回ってきたら、8 切りからペアにかえる。

□→□→□

(7 → 8 → 5 5)

死に札の多くは (○ 2 j k) という形なので、死に札から j k を切られた後はペア回しが有効です。ただし、どんなセオリーにも裏と表があるように、(9 9 j k) のような形から j k を切られることもありえますので過信は禁物です。

□

(例、9 9 j k など)

j k を使わせてしまえば、あとはしぼりでも対策できますので、ゆっくりと丁寧に料理すればいいだけです。このとき重要なのは 8 切りも J バックも使えない高めのピンを切らないこと。

□

(例、A 切りなど)

もし手札の中にある A を出してしまったら、大貧民はしぼることさえできず、結果的に大富豪にアシストしてしまうことになります。

アイコン素材

こんなんで・いいんすか。

(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

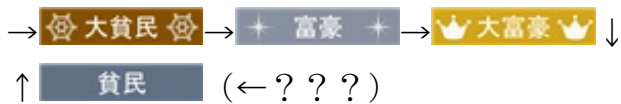
原著作者 = きんぎん氏



2 - 6 読み (考える力)

プレイヤー： ???

席順： 以下の通り



手札： 以下の通り

□  
( 3 4 5 6 6 8 9 9 10 10 10 J J K )



うさこ、そろそろ最終段階に入るわよ。



え？ どうしたんですか突然。宇宙意思にでも目覚めたんですか？ やばいですよラビットさん、知り合いのいい医者紹介しますか——



スッパパン！！ (ハリセン)



あうう > <



あんたにはいろいろナンヤカンヤと教えてきたけど、まだ決定的に足りないものがある。



え、それって「死に札」みたいな秘めたる奥義と書いて秘奥義ですか？



べつに秘めちゃいないけど、てかあれ、わりと基本的なコトだし。むしろあんたが、今まで

気づかなかったことが不思議なくらいよ。



え？



ま、とにかく、あんたに足りないのは「読み」よ。



読み？



相手の手札を読む力、場の流れやプレイヤーの気質から先を読む力が、ヤバイくらい欠けているのよ。



ええ？



ええって、あんた思いっきり自覚あるでしょに。



あ、はい、それなりに。



なんで読めないと思う？



さあ？



そう、わたしにもわからない。



えええええええええええええええええ、ラ、ラビットさんにも読めないものあるんですか！  
しかも、わたし??



ううん、あんた宇宙人じゃないの？



いや、歴とした地球人ですよ。ほら、ちゃんと戸籍もありますし。



それ住民票だし、てかなんで住民票を持ち歩いているのよ。



いや、わたし免許を持ってなくて、これあるといろいろな便利なんですよ。たとえばレンタル店に行ったときとか会員にすぐに入れるし。




あ、そう。どうでもいい情報ありがとう。




どもです。




ま、わたしあんたにいろいろ教えてきたけど、それがかえって考える機会を奪ったんじゃないかなって思ってね。


 顔に似合わず、いろいろ神経質ですね。


 スッパパン！！！（ハリセン）


 はうう><


 余計なお世話だ。


 うう、今日も愛のムチが痛いです。

 んー、ちょっとは真面目に考えてたのに。


 いつものラビットさんで、いいじゃないですか。少しお節介なくらいが性に合ってるんですよ。


 うーん、なんかうさこに言われるとな。


 で、今日はなんですか？


 今日はちょっと趣向をかえて、わたしは一切何もアドバイスしない。ただ、問題を用意して、あんたがそれに答えるだけ。


 はい？


 これは考える力を養う訓練みたいなものね。いちお問題は貧民が富豪の待ちを読むものだけど、それにこだわって考える必要もないわよ。

 え、どういうことですか？


 自分で問題を考えればいい。たとえば富豪の待ちを読めたとしても、必ずしも富豪の望むカードを切ることが勝ちに繋がるわけでもないし、相手のタイプはどうなのか？ 攻めの合図は何個あったか？ 大富豪のカードを推測するポイントはいくつだったか？


 ううん、自分で問題を作るのか。わたしにできるかな。

 問題は用意してあるから、とりあえずやってみなさいな。


 ラビットさん。

 何よ？

 いや、まめですね。

 スッパパン!!! (ハリセン)





 あうう><

 やかまし、さっさとやれ。

あなたは貧民です。富豪の待ちを答えよ。

プレイヤー：???

席順：以下の通り

→  大貧民  富豪 →  大富豪 ↓  
↑  貧民 (←???)

手札：以下の通り

□  
(3 4 5 6 6 8 9 9 10 10 10 J J K)

ゲーム開始時の各プレイヤーのカード枚数：以下の通り

大貧民「13枚」

富豪「13枚」

大富豪「14枚」

貧民「14枚」

## 問題の見方

0:00 (アクションにかかった所要時間、小数点以下は切り捨て)

「00枚」 (カードの残り枚数)

例、大貧民 (現在のプレイヤー)

例、ハートの6 (場に切られたカード、またはパス)

0:05 スペードのAとダイヤの10を富豪と交換

0:04 「12枚」大貧民、ハートの6

0:02 「12枚」富豪、ダイヤのK

0:03 「13枚」大富豪、ハートのA

0:00 「14枚」貧民、パス

0:06 「11枚」大貧民、ハートの2

0:00 「12枚」富豪、パス

0:00 「13枚」大富豪、パス

0:00 「14枚」貧民、パス

～場流れ～

0:01 「10枚」大貧民、ダイヤの9

0:02 「11枚」富豪、スペードのA

0:01 「13枚」大富豪、パス

0:01 「14枚」貧民、パス

0:00 「10枚」大貧民、パス

～場流れ～

0:00 「08枚」富豪、スペード、クローバー、ハートのQQQ

0:00 「13枚」大富豪、パス

0:00 「14枚」貧民、パス

0:00 「10枚」大貧民、パス

～場流れ～

0:01 「06枚」富豪、スペード、ダイヤの77

0:02 「11枚」大富豪、スペード、ダイヤのJJ (Jバック、しぼり)

0:01 「14枚」貧民、パス

0:09 「08枚」大貧民、スペード、ダイヤの33 (Jバック、しぼり)

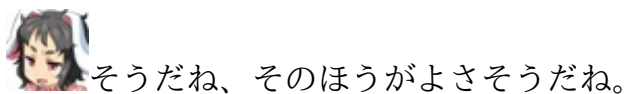
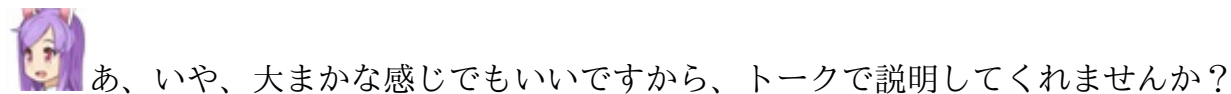
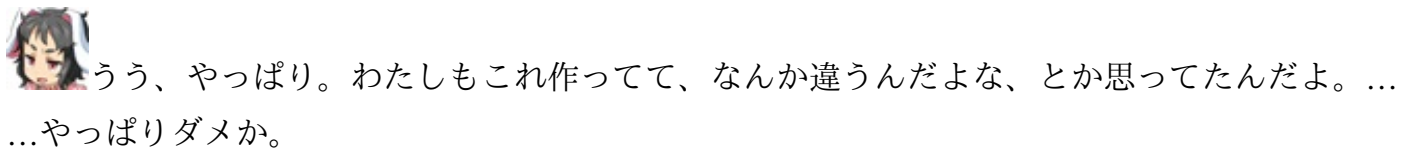
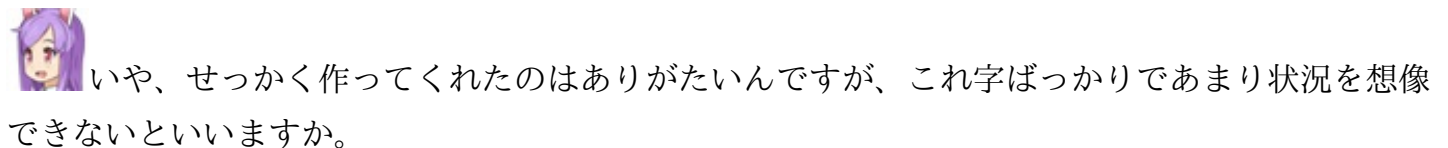
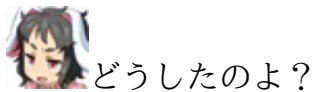
0:00 「06枚」富豪、パス

0:00 「11枚」大富豪、パス

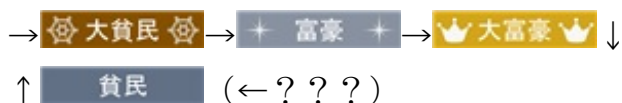
0:00 「14枚」貧民、パス

～場流れ～

0:01 「06枚」大貧民、クローバー、ハートの7 7  
0:01 「04枚」富豪、スペード、クローバーの8 8 (8切り)  
0:00 「02枚」富豪、クローバー、ハートの5 5  
0:05 「09枚」大富豪、ハート、j kの9 j k (しぼり)  
0:05 「12枚」貧民、クローバー、ハートのJ J (Jバック、しぼり)  
0:01 「06枚」大貧民、パス  
0:00 「02枚」富豪、パス  
0:05 「09枚」大富豪、パス  
～場流れ～  
0:02 「??枚」貧民、??



大貧民の初手は6で、富豪に対しても8以下のカードだから、特にかわった要素のない平凡な出だしね。



大貧民→富豪

まず違和感を覚えるところは『0:01 「10枚」大貧民、ダイヤの9』。ハートの2で大富豪のAを

押さえたあと、富豪に対して8以上の9ピンを切っている。

□

(9)

次に注目するところは『0:02「11枚」富豪、スペードのA』。富豪のAに対し、大富豪がパスしている。

□→パス

(A→パス)

最後のポイントは『0:01「04枚」富豪、スペード、クローバーの88(8切り)』。大貧民の出した77のペアを88で流して、富豪は55のペアを選択している。

□→□→□

(77→88→55)



要約すると、こんなところ。



うう、これで本当に富豪の待ちが読めるんですか？



んー、てかもうほとんど答えちゃってるんだよな、これ。ううん、なんか最初の主旨から思いっきり外れてるし。



えええええええ、つかぜんぜんわからないんですけど。ちなみにこれ難易度のレベル、どのくらいなんですか？




それが、わからないんだよね。




え？




わたし、これ、すぐにわかつちやったし。


もしかして、この貧民ってラビットさん？


うん、そうだよ。


ううう、それじゃわからないです。

下手に先入観与えるといけないから、わざわざ伏せてたんだけど、もうあんまり意味ないからね。

□これ、読みレベル73くらいありますよ。

それって高いの？

むっちゃくちゃ高いですよ、檄高、檄高。もうちょっと、イージーなやつでお願いしますよ。

そうかな、簡単だと思ったんだけどな。

## 捕捉

何も判断材料がない状態で、先を予測するのはただの勘です。コインの裏表を当てるようなもので、体感的にそういうことが得意な人もいるかもしれませんが、予測はある程度の予備知識があってこそ成立します。

予備知識とはこれまでに書いてきた「攻めの合図」なり「死に札」なりといったセオリーです。セオリーは相手の手札を読むのに便利なツールですが、あくまで道具にすぎません。プレイヤー一人一人には個性があり、そこを無視してカードを切れば、ただの詰め将棋になってしまいます。

机上の空論では、生身の人間の行動まで計算できません。ただ相手のカードを読むだけでは不十分、場の雰囲気やモチベーション管理、相手の力を最大限に引き出す方法など察知して、実戦に投入する。「大富豪」というトランプゲームは驚くほど、カードの切り方に性格が表われますが、カードを読み、人を読み、流れを読む。カードのみならず、広い視野を持つことが読みを深める秘訣です。

## 最後に

チームワークを旨としたゲームにおいて、一人の人間の力など、ほんの小さなものです。しかし、だからこそ力を合わせて困難な相手に立ち向かおうと思えるのです。みんなは一人のために、一人はみんなのために。そう、三銃士さながらの世界観ですね。

あくまで本書は協力プレイを前提としたものですが、そういった主旨にこだわらずとも読める



内容にはなってると思います。

アイコン素材

こんなんでもいいんすか。

(<http://kinginsan.blog60.fc2.com/>)

原著作者 = きんぎん氏

アメーバピグの「大富豪」都落とし専門書

<http://p.booklog.jp/book/71437>

著者 : rat

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/hanamogera1515/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/71437>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/71437>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ